



第24号

編集発行

園田学園女子大学

シニア専修コース

「けやき便り」

編集クラブ

シニア専修コース 開設20周年を迎えて

園田学園女子大学
学長 川島 明子



新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な影響を被られている方々に心よりお見舞い申し上げます。

平成14年に設置したシニア専修コース（以下コース）は、本年で開設20周年を迎えることとなりました。

ここに、皆様方には、長年にわたり本学の生涯学習の運営にご理解とご協力をいただいておりますこと、あらためて感謝申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、2度の緊急事態宣言が発出され、コースの開講については中止という苦渋の決断を致しました。

一方、オンラインで他者とつながる機会が増えてきたことを好機と考え、コースの受講生の皆様とのつながりを継続することを第一に、オンラインキャンパスを開設し、多くの方々に受講していただきました。また、大学からの情報発信、及び、皆様の交流の場のブログにつきましては、現在も引き続き開設しています。

令和3年度は、講堂での入学式をオンライン配信し、本年度開設した経営学部ビジネス学科の学生や、各学科の新生は、それぞれ指定された教室で視聴する形ではじまりました。さらに十分な感染症予防の対策をしたうえで、原則として対面授業を実施していく方針で進めてきました。

しかしながら、すでにホームページに掲載しておりますように、3度目の緊急事態宣言の発出により、講義科目については遠隔授業とし、学内の収容定員に基づく入構率も半数程度に制限しています。

皆様が、コースの再開、本学でのさまざまな活動を行うことを、心待ちにしていられるとの声が届いています。

しかし、新型コロナ感染が拡大して1年以上経過した現時点においても、変異型の脅威もあり、学生、コースの受講生、教職員の安全、安心を守りながらの通常通りの授業形態での実施までは、あとしばらく慎重に対応を検討する必要があると考えております。

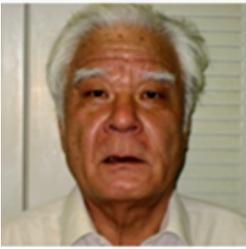
コース再開を楽しみにしていただいている皆様方には、引き続き関係部署から情報発信をして参りますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

今はまず、一日も早くワクチン接種等の医療体制が充実し、現在の日常への不安や閉塞感、感染への恐れのない新しい日常になることを心から願ってやみません。

皆様方にはくれぐれもご健康に留意され、毎日を元気で過ごされますことを心より祈念しています。

目次

シニア専修コース 開設20周年を迎えて……	園田学園女子大学学長	川島 明子	P1
目次……			P2
京都の五山送り火-「よもやま話の会」その後- ……	(国際)先生	松山 利夫	P3・P4
文学に触れていたい……	(文歴)先生	桑原 一歌	P5
一人で学ぶと見えなくなるもの、 共に学んで見えてくるもの ……	(情報)先生	山本 恒	P6
Viva! 人と映画……	文歴2年	田中 祐二	P7・P8
漫画の効用……	研究生	馬場 正子	P9・P10
山本周五郎を読む……	文歴2年	松原 光治	P11~P14
三屋清左衛門残日録~人生をいかに生きるか~……	文歴2年	田中 祐二	P15
写真は生涯の趣味でもあり友でもある……	研究生	木村 勲	P16
群青と緑、そして墨……	研究生	井上 聖明	P17・P18
屋久島へ行ってきました……	文歴3年	田畑 芳彦	P19
『素晴らしき、白酒!』Episode-2 -「漢族」の知恵-……	国際3年	木田 信正	P20~P22
私のポストコロナ計画……	研究生	中村 米三郎	P23・P24
コロナ禍で つながる・学び合う 「よもやま話の会」報告2……	文歴2年	河田 かつのぶ	P25・P26
コロナ・自粛・家事・親父……	国際2年	鈴木 好夫	P27
二人のピアニスト……	文歴3年	櫻井 秀也	P28
お茶になった体温計……	研究生	木下 俊造	P29
映画のこと……	研究生	高山 純子	P30
なんで どうして……	研究生	峠田 桂子	P31
ざっきちょうから ……	研究生	金森 扶美子	P32
わたしの作品 水彩画 ……	国際1年	山根 邦男	P33
出会いと別れ-阪本與志さんのこと-……	研究生	眞鍋 幸裕	P34
クラブ・同好会 状況報告……			P35~P38
「けやき便り」アンケート結果報告……	編集クラブ		P39~P44
社会連携推進センター 生涯学習ユニットからのお知らせ……			P45・P46
編集後記……	編集クラブ		P47・P48



京都の五山送り火

—「よもやま話の会」その後—

平安女学院大学名誉教授
国立民族学博物館名誉教授
松山 利夫

はじめに

園田学園女子大学シニア専修コースの皆さん、おかわりありませんか。

飲みにも行けず、日々の暮らしは閉塞感が強まっています。でも、ふと顔をあげたとき、季節が足早に移っているのにきづきます。わたしのまわりでは、卯の花が盛りをすぎたと思うまもなく、ドクダミが咲き、カシの木やクリが独特の芳香をはなっています。ときには、こうして季節を、命のいとなみを感じましょう。気持ちをはれます。

さて、今日は、昨年11月の「よもやま話の会」でお話した「京都の五山送り火」と、その後に勉強した内容をお知らせしようと思います。「よもやま話の会」は、シニア専修コースの有志による勉強会でした。コロナで参加人数が制限されるなか、集まった人たちが交代で話題を提供しているようでした。そこによべれたわたしは、「よもやま話」という名前はきっと「きらくに」という意味だと考え、「京都 五山送り火の謎—なぜ「妙法」「大」の字と鳥居形なのか—」という題でお話をしました (写真上)。



1. 送り火の起源

五山送り火は、ご存じの通り、東山の如意ヶ嶽(大文字山)の「大」と、松ヶ崎の「妙法」、西賀茂船山の「船形」、それに大北山の「左大文字」と北嵯峨水尾山の「鳥居形」をいいます。

それがいつからおこなわれるようになったのかは、はっきりとはわかっていないようです。最も古いのは、室町時代におこったという説ですが、江戸時代初期というのが大方の考えのようです。

室町説をとるのは、京都の年中行事を解説した江戸初期の『日次紀事』です。むづかしい題ですが、「ひなみ」と読みます。月を追って日ごとに行事を記録したという意味です。そこには、如意ヶ嶽「大文字」は、一条通が正面になるようにしたともあります。

その一方で、これも江戸初期の京都の案内書、『案内者』は、「大」の字は当時の公卿で近衛流の書家であった近衛信尹のものだといっています。これは信ぴょう性が高いらしく、風俗学を創始した江馬務は、これにもとづいて、大文字送り火は江戸初期におこったといっています。

いまでは京都を代表するお盆の行事であり、夏の京都観光の目玉でもあるのに、その起源は不確かなままのようです。

2. 「大」と「妙法」、

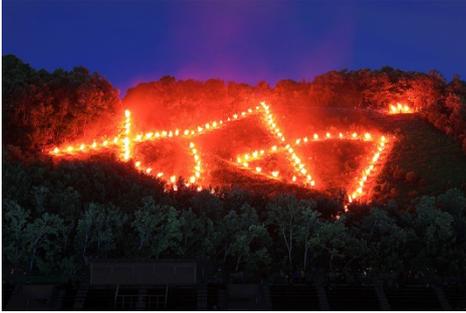
それに「船形」と「鳥居形」の意味

ところで、送り火の「大」の文字は、五つの突起をもつ星形、五芒星☆を文字化したものです。「大」の字にも五つの先端があります。それは密教でいう地水火風空の五大に対応し、陰陽思想の五行(木火土金水)に対応していて、悪霊や邪気をおいはらい、疫病や災



厄の侵入を防ぐといわれています。つまり「大」の字は、強い魔よけの力をもつのです。

「妙法」も同じです。これは日蓮宗の九字の作法で唱える「妙法蓮華経諸法実相」に由来する、魔よけの二文字です。この作法では、縦四つ横五つの井桁のような形を手刀でできるそうです。ちなみに「妙法」の送り火を司るのは、山麓にある日蓮宗の寺、本涌寺(泉涌寺)です。



こうして五山送り火の夜、京都は三つの魔除けの文字に囲まれて、精霊を送るとともに、大きな辟邪の力におおわれるのです。

「船形」は、精霊を安全に送るためでしょう。さきの『日次紀事』には、これが点火されると



村びとは鉦をたたいたとあります。

さいごの「鳥居形」は、

仏教に対抗して、神道がその存在を主張したものだ、と、江馬務は解釈しています。これは比較的新しいのかもしれませんが。いまのところわたしの調べた限りでは、江戸初期の送り火の記述には表れないからです。

おわりに

「よもやま話の会」でこのような話をしたとき、「京都の南にはなぜ送り火がたかれないのか」という質問がありました。その時にわたしは、「京都盆地は南が開けていて、山がないからだ」とこたえたように思います。しかし、その後、時間がたつにつれて、この質問の「南」は「如意ヶ嶽より南の東山」という意味だったのかもしれないと考えるようになりました。つまり、

祇園八坂神社や清水寺の背後の東山には、なぜ送り火がないのかを説明せよということだったのかもしれない、と。

これは簡単には説明のつかない問題です。いまに残る五山のほかにも、北山のいくつかの村でも、山の斜面に送り火がたかれたらしいのです。そしていまの五山の点火時刻も、観光業界が「大文字」から順に点火を求めた1962(昭和37)年までは、別べつの時刻に点火していました。村のしきたりによっていたのでしょう。送り火は、村むらの盆行事だったのです。

それが東山の南にないことのとりあえずの仮説は、この地域の山麓には寺や神社がおおくあって聖地だったらしく、人びとが日常を暮らす村がなかったからではないのか、というものです。あるいはこの地域の山は、これらの神社や寺の所領だったのかもしれませんが。

この問題に取り組む手始めに、いま、京都に関する江戸時代(それ以外も含む)のさまざまな文献を集成した『新修京都叢書』を読んでいきます。

なお、『日次紀事』は愛媛大学のデータベースで、『案内者』は国立国会図書館デジタルアーカイブズで読めます。

江馬務の見解は、江馬 1988(1977)「日本歳事全史」『江馬務著作集』第8巻中央公論社によりました。

さらに、「大」の字と「妙法」の魔力については、岡田保造 2007『魔よけ百科—かたちの謎を解く—』丸善を参考にしました。

また、大北山の「大文字」については、和崎春日 1987『左大文字の都市人類学』弘文堂が参考になります。いずれも興味のある方は覗いてみてください。

最後に

シニア専修コースの皆さんとの出会いと議論は、おおいに勉強になります。対面でお話しできる日を心待ちにしています。

写真：京都 五山の送り火 (imamiya.jp)



文学に触れていたい

本学非常勤講師 桑原 一歌

皆様、大変お久しぶりです。思いがけなく年月が過ぎてしまいました。急に世の中が変化しましたので、何も区切りがつけられないままに日常が絶たれ、今頃皆様は何をお感じになっていることだろう、と遠い空から推察するばかりでした。

これまで、どなたもお変わりなくお過ごしでしたでしょうか。お元気でいらっしゃったことを願っております。ご自身や周囲の方に、もし健康上の問題がおありでしたら、一日も早く本復なさいますよう、お見舞いを申し上げます。

私はおかげさまで今日まで元気に過ごしております。以前の病気も、薄紙をはぐように回復しつつあります。歩くときに杖を持つこともなくなりました。

昨年度と本年度の2年は、オンライン授業も対面授業も行っておりましたので、日々新しい経験が押し寄せ、悪戦苦闘が続きました。オンライン形式の授業には、形態によって長所も短所もあります。文書中心の教材を送るだけでは、何がどれほど伝わったのか手応えが感じられず、心配になります。課題を送り返してもらうのも、意思疎通をはかるだけで一苦労でした。受講の方もきっと不安だったでしょう。また、映像も作ってみました。自分が伝えたいポイントが、何かずれているような気がしてきます。ちなみに YouTube では早送りができますので、若い人は2倍速くらいにして見るそうです。おそらく、間延びして見えるのでしょう。一方で、対面授業も感染対策を続けながらですので、全員の緊張が続きます。昨冬は、窓全開で暖房のない大きな教室に、コートを着たまま間隔を空けて座っていただきました。皆不安が表情に出ていると思われそうですが、お互いマスクを着けていますので、素顔も知らないまま年度が過ぎてゆく、

といった具合です。

何事も新しいことを始めるには、まず仕組みを作り、具体的な諸問題を想定し、いざ始めてからも、次々湧き出てくる事柄を解決してゆかなければなりません。そのほとんどは、表面からは見えにくいものです。準備に力を費やしても、報われる保証はありません。不具合があれば、すぐに批判の対象となります。さりとて、もう元の世の中に戻ることもできませんので、今できることを問い返ししながら、行動を前に進めるようにしたいものです。

このような状況下で、自分がすべきことについて、様々考えました。学びに関すること、中でも文学というものは、目先の役に立たない代表のように言われることが多いものです。しかし、文学に触れると少しでも気持ちが落ち着いて自分らしく過ごせる、とお考えの方がいらっしゃるなら、存在していてよいものと思われまます。また、私自身にとっても救いになるものです。これからも、皆様とご一緒に文学に触れてゆけると幸いです。

では、本年度の後期予定をお伝えします。日本文学(2)では、平安時代までの有名作品から少しずつ抜粋して読みます。日本古典文学研究では、『源氏物語』第一部の主要な女君を見てゆこうと考えています。公開講座では、『源氏物語』「少女」巻を冒頭から読みます。

来年度は、2020年度に予定していた内容をそのまま扱うつもりです。つまり、日本文学(2)では、上代から近世までの女性の描かれ方をたどります。日本古典文学研究では、『源氏物語』第三部の前半を、抜粋して読みます。

これからも、文学を分かち合う者として、どうぞよろしく願いいたします。



一人で学ぶと見えなくなるもの、 共に学んで見えてくるもの

園田学園女子大学名誉教授 山本 恒

コロナ騒動が始まって1年半近くになります。早く普段の日常生活ができることを切望していますが、この騒動の中で私はシニアの皆さんと素晴らしい時間を過ごすことができました。

私は普段の授業でLMS(学習支援システム)を使って学習の定着のためにドリルなどを実施していましたが、コミュニケーションの広場もあり活発に書き込みがありました。昨年1月には2018年度入学の皆さん(2年生)の新年会の楽しそうな写真がアップされ、その後は授業も終わり休息状態でしたが、この広場は使える状態になっていました。

残念ながら2020年度のシニア講座が開講延期になったので、4月のはじめに「コロナ騒動で大変なことになりましたが、皆さんどうぞ自由に使ってください。独り言でもいいですよ。おしゃべりを楽しんでください。」と書き込んだところ、どこから聞き付けられたのかコロナ禍の話題などが続々書き込まれました。途中で、受講生のお一人がScratchのインストールの方法とともに、Scratchの作品(六甲嵐)をアップされ、それを機にそれを見ようと皆さんの「学びのスイッチ」が入り、リモート講座がスタートするきっかけとなりました。

私はもともと遠隔教育に関心がありノウハウもある程度は持っていましたが、シニアの皆さんには非対面という初めての経験で、学習環境の準備とそれに慣れることは大変だったと思います。この初めての経験を自分のものにできたのは、皆さんが「学ぶことにほんとうに熱心」であったからだと思います。おそらく、今までの一斉授業よりはるかに内容の濃い実りのあるものになったのだらうと感じています。

最近、教育の個別化・個性化が話題になって

いますが、その話とこの体験をだぶらせてみたいと思います。

「共に学ぶと効率がわるくなり、一人で学ぶと効率が上がる」

一斉授業では個々の興味関心や前提となる知識や経験などが異なるため、全員が満足する授業を展開することは難しいです。これを解決する一つの方法は、ネット上に個別学習が可能な教材を準備して「いつでもくりかえし」学べる環境を作ることです。これは、同じ時間帯にネットで一斉授業を受けるのとは全く異なり、「学びのスイッチ」は学習者の方にあります。この方式はオンデマンドと言われています。

「一人で学ぶと見えなくなるもの、共に学んで見えてくるもの」

しかしながらオンデマンドで、一人で学ぶと他人の様子が見えなくなり、孤立感を味わうだけでなく、他人の考えなどを知ることができないので、逆に自分自身が見えなくなってしまうことがあります。自分の個性は他人がいて初めて分かるもので、自分の個性を伸ばしたり他人の個性を大切にしようとしたりしても、一人だけの世界では実現できません。

ですから、いい学びの環境はオンデマンド学習ができるとともに、みんなが顔を合わせることもできるZoomミーティングのような環境が必要です。この2つがあってこそ学習が成立すると思っています。一斉学習でこのことを実現できればいいのですがなかなか難しいです。ですからICTの活用が教育でも叫ばれています。

皆さんはコロナ禍の中でこのような体験をされたのですから、さらに新しい学びのスタイルを求めて「生涯学び」の世界に漕ぎ出してほしいと願っています。

Viva 大阪！ 人と映画

文学歴史学科2年 田中 祐二

私は生まれも育ちも関西です。そしてコテコテの“大阪人”だと自負しています。大阪と言えば「騒がしい、ガラが悪い」というイメージがあるようですが、私にとっては「食べ物が美味しい、オモロイ、人情味がある etc.」、こんなに過ごしやすく気持ちい温かくしてくれる場所はないと思っています。

昔、会社勤めの時ですが、取引先の担当者との会話の中で、定期的に人事部に出す「転勤希望地」で人気があるのは、博多、札幌、仙台、東京、名古屋などで、大阪は全く人気がない(というよりも絶対行きたくない)というのを聞き、とてもショックを受けた事があります。(大阪はクレーム処理が大変だという認識があり、関西弁が怖いので対応に苦慮するとの事)

■ 「大阪ルール」

また大阪には「大阪ルール」があり、初めて大阪に赴任した方は、当初はかなり戸惑いを感じるようです。それが大阪に対する誤解・悪いイメージに結びついているのではないかと、と危惧を感じたことがあります。

「大阪ルール」というのは、例えば・・・

- ・エスカレーター、動く歩道の立ち位置が「右側」。
- ・電車に乗るときは縦に並ぶというよりは横に群がる。
- ・黄色の信号は「アクセルを踏め」という解釈。
- ・炭水化物をおかずには炭水化物を食べる食文化。(お好み焼き定食)
- ・商談上の「考えときますわ」は断り文句。
- ・朝一番の挨拶「勝ちましたね」は当然「阪神タイガース」の事。
- ・自分の主張や言いたいことを一通りしゃべった後、結びの一言が「知らんけど」。

しかし外国の訪日ビジネスマン・観光客に対する聞き取り調査によると、ほとんどの方が東京人よりも“大阪人”の方が好きだと答えているそうです。その理由は次の通りです。

- ・明るいし裏表がないので、話していてラクだし、楽しい。
- ・積極的に親しさを示して、自分にとって特別であることを示してくれる。
- ・あけっぴろげで思ったことをはっきり言ってくれるので忖度しないで済む。

どうも外国人は“大阪人”の本音のコミュニケーションを好むようです。いずれにしろ肝心の日本人に“大阪人”の良さがわかってもらえないのはとても残念です。大阪に対する誤解が無くなることを祈ってやみません。

■ 大阪を舞台にした映画 ベスト5



▲男はつらいよ <https://video.unext.jp/>

大阪ほど笑いのセンスにあふれ、居るだけで“ホッコリ”する土地柄は、日本全国どこにもないと思っています。大好きな大阪を舞台にした映画で私のベスト5は次の通りです。

1. **男はつらいよ 浪速の恋の寅次郎** (1981年・山田洋次監督)

松坂慶子がマドンナ。寅さんのバックに通天閣、もう最高です。

芦屋雁之助、大村崑、かしまし娘・・・寅さん映画の関西弁はええなあ～

2. **泥の河** (1981年・小栗康平監督)

戦後10年の大阪が舞台。多くを語らず、美しい白黒映像とストーリーに感動させられました。とにかく子役の演技が素晴らしかったです。



▲泥の河

(<https://gyao.yahoo.co.jp/store/title/119801?trailer=A119801001999H01>)

3. **めし** (1951年・成瀬巳喜男監督)

上原謙、原節子が出演。昭和26年の大阪を舞台に、ごく平凡なサラリーマン家庭の夫婦物語です。



戦後間もない大阪の風景が見られるのも貴重。

▲めし

(http://mitotanpen.jp/2017/we-love-japanese-film_mikio-naruse/)

4. **ぼんち** (1960年・市川崑監督)

船場のぼんぼん役の市川雷蔵が飄々としてまさに適役。そして女優陣のゴージャスさ(若尾文子、中村玉緒、草笛光子、山田五十鈴、越路吹雪)にため息。

5. **夫婦善哉** (1955年・豊田四郎監督)



▲夫婦善哉

(http://blogs.yahoo.co.jp/alfmom29/folder_1132349.html?m=lc&p=10)

森繁久彌の名演技も光りますが、とにかく淡島千景の可愛い関西弁に堪能しました。二人の掛け合いが絶妙です。

■心のワクチンがある

4月30日現在ですが、大阪を中心にした関西は3度目の緊急事態宣言により大変な状況となっております。行きつけの映画館も25日から休館となりました。

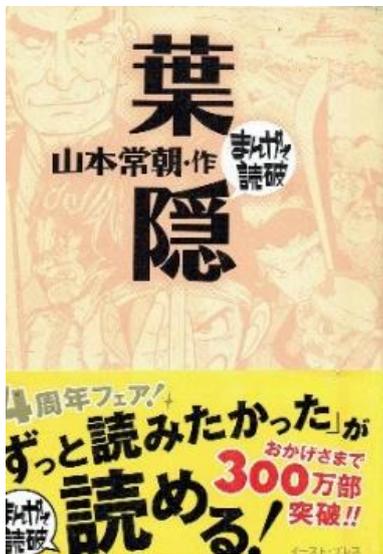
今回は変異株の威力が今までと違うという事を認識しておいた方がいいかもしれません。ワクチン接種がほぼ完了するまで、自分の体は自分で守り、自分の行動には責任意識を持って行動し、コロナにかからないよう最大限努めるしかなさそうです。風評に振り回されず、“大阪人”の特性である行動力・順応力の高さを生かしながら、明るく生き活きと日々の生活を行うことにより、必ずやこの状況を克服できると確信しています。知らんけど！

私自身、自粛疲れが出ておりますが、耐え抜いて見せます。何と言っても私には、“映画鑑賞”、“阪神タイガース優勝”そして“園田シニア専修”という心のワクチンがあるのですから。

漫画の効用

研究生 馬場 正子

私は 漫画ファンというわけではありませんが、伝達手段には文字だけでなく、図や写真、絵が有効ではないかと思えます。若いときは文字中毒だったように思えます。今では難しいことほど絵が必要



と感じます。思い出せる範囲でいうと、佐賀へ行った時、一人旅だったので、飲み屋でたらふく飲み食いするのも気がひけて、ホテルの近くの店で、おつまみとビールを買い、ついでに本を見に入った店で

「**葉隠**」イーストプレス 600 円という漫画本を見つけました。飲みながら、食べながら読むにはぴったりでした。これは山本常朝と田代陣基(つらもと)という肥前佐賀藩に仕えていた二人で編集、編纂されました。「武士道とは死ぬことと見つけたり」が有名です。

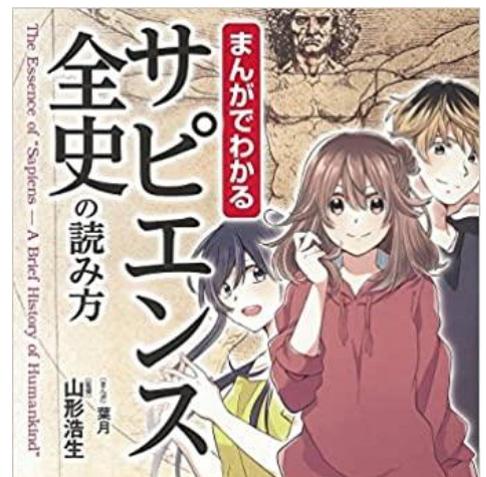
最近ではコロナの影響で、家にいることも多く、漫画で解くカミュの世界「**ペスト**」宝島社 700 円を読みました。都市封鎖(ロックダウン)があり、不安や重苦しさは今以上です。何しろ、治療薬やワクチンなどない時代ですから…。世間では、サルトルの

方が有名ですが、サルトルは私にはなじみにくく、大江健三郎で、お茶を濁していました。しかし、カミュはきちんと割り切れない不条理の世界を描く人であり、より現代の世相を映していると思えます。

カミュがこのコロナの時代に再評価されていることが、とても嬉しいです。ペストからコロナへ時代は違えども人類の苦しみは変わらない……。

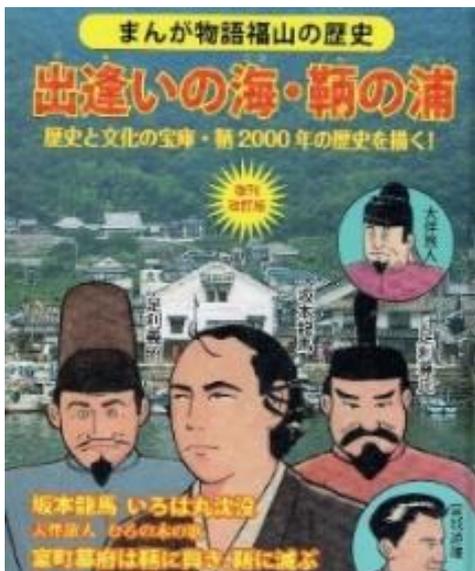


今アイヌから「**狩猟採集民**」について考えをめぐらせています。狩猟採集民は今も世界の森やジャングルに、暮らしています。世界が相手となると、膨大で複雑で圧倒されています。ユヴァル・ノア・ハラリ のサピエンス全史はトータレモ分厚い本で読むのが大変です。そこで見つけたのが、「**まんがでわかるサピエンス全史の読み方**」宝島社 3400 円です。これはニートの女性が生きがいを見つけ、現実に向かかっていくこと(現代人の悩み)と人類の歴史を重ねて描いています。狩猟採集民は遅れた、文明から取り残された人々と見なされることが多いです。しかし、この狩猟採集民の人々は、基本、自分たちだけですべての活動を展開しているので、戦争することもなく、生活エリアはあるものの土地所有を主張していません。現代人に住んでいるエリアを荒らされ、自然破壊され、民族壊滅される例が多くあります。現在、農業や酪農の時代をクローズアップし人類のターニングポイントとする人は多く、文明の夜明けとする向きが多いですが、



ユヴァルは懐疑的です。人々は**農業革命**によって、かえって人類の苦しみが増えたといひます。日本でも**瑞穂の国**を力説する人(元首相や元校長)がいますけれど…。

コロナの前の夏、福山&鞆の浦にでかけました。私は、最近まで足利義昭は信長に殺されたと思っていたのですが、義昭は京都から追放され、鞆の浦に落ち延びたと知り行ってみました。鞆の浦は、道幅もせまく、夏のジメジメがこたえました。万葉集の時代の同伴旅人、室町時代最後の將軍足利義昭、朝鮮通信使が訪れ眺望を絶賛した対潮楼、鞆の浦の沖で坂本龍馬のいろは丸が海難事故を起



こしたこと、宮城道夫の父の生まれ故郷と見どころ満載です。いろいろな人がいろいろな時代に生きていた村だったと知り

ました。事件が重なって頭がこんがらがりそうな時みつけたのが**「鞆の浦の歴史」** 啓文社 1500 円です。この漫画はゆっくり、解説してくれています。この鞆の浦は上げ潮・引き潮が定期的に行きわたるので、タイミングを合わせると大坂・京都にも、九州方面にも行けるのです。古代から良港とされていたそうです。



ここだけでなく福山駅の近く、福山城の隣に博物館があります。ここに、草戸千軒という川の下

に埋もれていた村が再現されています。近くにこの川があります。この村の中を歩くと、室町時代の村に迷い込んだようで迫力満点です。これぞ立体映像の世界ですね。



娘と北海道旅行をした時、娘がやたらアイヌの習俗に詳しいのでわけを聞くとこの**「ゴールデンカムイ」** 集英社 550 円のファンで 40 巻以上まで読んでいたとのことでした。この本の作者はアイヌの人に習俗を聞いて描いているそうです。私はこの本の別のテーマ金塊さがしで、盛んに出てくる戦闘シーンに耐えきれず4巻でギブアップしています…。



▲アイヌの少女アシリパ

以上とりとめもなく書いてきましたが、旅行もしづらい今、漫画の世界で少しはリアルさを感じてみませんか？

山本周五郎を読む

文学歴史学科2年 松原 光治

はじめに

山本周五郎長篇小説全集(2013年新潮社刊全26巻)を読み終えた。もちろん、周五郎だけを読んでいたわけではないので、ずいぶん時間がかかった。彼の代表作の一つといわれる『樅ノ木は残った』をはじめ読んでのは、もう30年以上昔になる。多分、この作品がNHKの大河ドラマになった頃だろう。でも当時は、あまり心に残ったという印象はない。むしろもう少し華やかな司馬遼太郎などを好んで読んでいた。周五郎に特別興味を持って読み始めたのは、先日亡くなった半藤一利の『昭和史』を読んでいて、次のような記述を見つけたことがきっかけになった。「先の大戦たけなわの頃、軍部は、人気作家を戦地に派遣し、華々しい戦勝記事を書かせて、国民の戦意高揚を煽った。吉川英治などを先頭とする人気作家たちは、軍部に迎合し、美文調の戦記を書きまくって、大いに戦意高揚に寄与した。が、山本周五郎だけは、絶対に軍部に迎合せず、戦地にもゆかなかった。」というのである。このような反骨精神がどうして生まれたのか、作品の中にどのように書かれているのか?それが知りたくて、周五郎を読み始めたわけである。読むほどに、周五郎の作品に魅せられて、ついに26巻すべてを読み切った次第である。この全集には、中・長篇小説合わせて27篇が収められている。数篇を除いて、ほとんどが作家としての地位を確立した戦後に書かれたものである。

すごい学識

周五郎の作品を読んでまず思ったのは、その学識の広さと深さのすごいことである。歴史・時代小説を書いているのだから、歴史に詳しいのは当たり前として、和漢の古典は言うに及ばず、聖書や宗教書、ギリシャ神話やロシア文学、西欧文学、戯曲などその知識の広さと深さには圧倒される。作品のあちらこちらに、それらが引用されたり、下敷きにされた

りしている。私のような素人は、それと知らずに読んでいるのだが、この全集では「〇〇の戯曲のXXXXのセリフを踏まえている」というような丁寧な脚注がつけてあって、それとわかる。

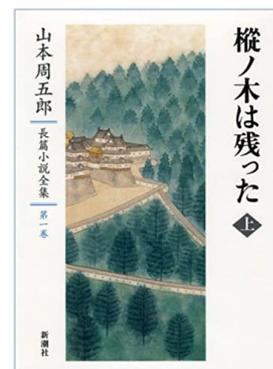
周五郎は、どのようにしてその深く広い学識を身に着けたのか?決して恵まれた環境で、学問として身に着けたわけではない。反対に、山梨県の貧しい家庭に生まれ、小学校を卒業するとすぐに13歳で、東京木挽町の質屋に丁稚奉公に「売り飛ばされた」(水谷昭夫)という。20歳で丁稚奉公を止め、作家として身を立ててゆくことを決意してから、原稿用紙も買えないような、文字どおり貧窮の中での作家修行で血となり肉となったものである。ちなみに、この質店の主人が山本周五郎酒楽斎という名で、少年の天分を見出し、夜間中学に通わせ、学問の大切さと楽しさを教え、作家となる周五郎をずっと支え続けたという。周五郎は、生涯この人を「真実の父」と呼んで敬愛したらしい(水谷昭夫、木村久邇典)。

周五郎には、『法と掟というギリシャ悲劇の主題』(山田宗睦)に取り組んだ『五辯の椿』という作品もあるし、新しい浄瑠璃を書くために苦闘・研鑽を重ねて遍歴するさまを描いた長編『虚空遍歴』という、アメリカの作曲家フォスターの一生を下敷きにした(木村久邇典)ものもある。

反骨・反権威

周五郎は、いくつかの文学賞に推されているが、いずれも受賞を拒否している。直木賞(1943年『日本婦道記』シリーズ)、毎日出版文化賞(1959年『樅ノ木は残った』)、文芸春秋読者賞(1961年『青べか物語』)などである。

周五郎は、「英雄・豪傑は大嫌い」と語っているのだが、彼が作品中で取り上げた歴史上名のある人物は、いずれも定着していた歴史的評価を覆すものばかりである。代表作の一つとされる『樅ノ木は残



った』の主人公原田甲斐は、仙台藩のお家騒動を引き起こした大悪人とされていたのだが、周五郎によれば、幕府首脳によるお家取り潰しの陰謀を、数少ない味方と共に未然に防ぎ、自ら一人で罪をかぶった冷静沈着な大忠臣として描かれている。『正雪記』で描かれる由比正雪は、江戸幕府転覆をはかった謀反人ではない。世の中に溢れていた浪人を救済するための具体的な施策を幕府に迫った正義漢なのである。学校の歴史の授業で、「汚職と賄賂にまみれた大悪人」と教えられた田沼意次、意知親子は、『栄花物語』の中で、勃興する商人資本の歴史的意義を認め、その力を幕府の立て直しのためにどのように使うかさざまな新しい政策を立案し、実行した苦勞人として描かれている。逆に、寛政の改革の指導者と教えられた松平定信は、単なる保守・守旧派の頭目でしかない。『彦左衛門外記』に描かれる大久保彦左衛門にいたっては、貧乏旗本が自分の出世のために偽造したお墨付きが誤って本物と誤解された結果生み出された「天下のご意見番」なのだ。周五郎にとっては、歴史上の英雄・豪傑などというのは、単なる後世のでっち上げに過ぎないとでも言いたいようである。これらの作品は、決してでたらめを書いているのではなく、長期間にわたる準備と周到な調査に基づいて書いているようなのだ。周五郎は、質屋の丁稚奉公をしているときに、既に「原田甲斐は、決して悪人ではない。自分はそれを書く」と言っていたそうで、30年後にそれを実現した。ほとんどの作品が、構想し始めてから20年、30年後に完成しているようだ。その間、調査し、構想を練り、自分の中で熟成するのを待ってから書いているのである

貧乏人・弱者への優しい眼差し

周五郎の作品には、貧しい人、社会的な弱者を主人公にしたものが多い。代表作の一つとされる『青べか物語』では、貧しい漁師町浦安(小説では「浦粕町」)に住む人々を描き、『季節のない街』では、人生に敗れて流れてきた吹き溜まりに住む人々を描いている。この人達に対する周五郎の眼は、限りなく温かく、優しい。このような人たちの中にこそ、人生の真実があるとでも言いたいようである。逆に、

今の世で富み栄えている人たちに対する周五郎の眼は、きわめてきつく辛辣である。『火の杯』の中で、敗戦による財閥解体を逃れて戦後もしぶとく生き残った旧華族階級の人たちは、醜悪そのものに描かれている。敗戦まじかになって兵器工場を有していながら、まともな兵器の生産を行わず、一部の高級軍人と結託して軍需物資を隠匿、横流し、私物化して、私腹を肥やした。私生活では、酒色にふけり、乱淫怠惰を常とし、金儲けのためには手先を使啖して殺人すらも平然と行う。周五郎の描く旧華族とはこのような人であった。

名作『さぶ』を書くとき周五郎は、次のような言葉を残している。「・・・やはり貧しい人たちのはなしだ。人間どうしの愛や友情が、ここでは貧しいためにゆがめられ、愛が憎しみに、友情が敵意に変わる。人が人を信じられなくなったとき、この人たちはなにを救いに生きるだろうか。人間は敵意や憎悪だけでは生きられない、ということ、読者とともに確かめてゆきたいと思う」。

また周五郎は、『赤ひげ診療譚』の主人公赤ひげの口を借りて次のように言う。「世の中は絶えず動いている。・・・ついてゆけない者はいるのだし、彼らも人間なのだ。いま富み栄えている者よりも、貧困と無知のために苦しんでいる者たちのほうにこそ、おれは却って人間のもっともらしさを感じ、未来の希望が持てるように思えるのだ。・・・人間ほど尊く美しく、清らかで頼もしいものはない。だがまた人間ほど卑しく汚らわしく、愚鈍で邪悪で貪欲でいやらしいものもない」。

スーパーマン

周五郎の描く小説の主人公は、ある意味で常人離れたスーパーマンが多い。読んでいるときにはそんな風を感じないのだけれど、読み終わってじっくり考えてみると、常人にはとてもできないと思うのである。『樅ノ木は残った』の原田甲斐は、ごく少数の味方と強大な敵に対して慎重に、沈着冷静に、決して隙を見せることなく戦い、陰謀から主家を守り通し、最後には汚名を一身に受けて自分は切り殺され、家族も斬罪、お家断絶。しかも、甲斐自身は、「自分には全く向かない」役柄と嘆き、山に入って

鹿を追っている自分が一番合っている野人として描かれている。常人ならば、こんな理不尽なことをなぜ自分が引き受けないといけないのかと思ってしまう。

『赤ひげ診療譚』の主人公赤ひげこと新出去定もスーパーマンだ。大名や豪商からも往診を頼まれるほどの最新の医術を身に付けていながら、幕府の貧民救済施設である小石川療養所の医長という地位に甘んじ、粗衣粗食を旨としている。大名や豪商に往診を頼まれた際には、巨額の診療費をせしめる代わりに、貧民からは薬代も受け取らないどころか、逆に生活費を援助している。おまけに、何も言わずに生活態度そのもので所員を教育する優れた教師なのだ。幕府の御目見医になることを夢見て長崎遊学から帰京した保本登は、小石川療養所に見習医として住み込み勤務することを命じられたとき、あまりにも希望と異なる処遇に、赤ひげに反抗・反発していたのだが、次第に赤ひげの人柄に惹かれ、師と仰ぐようになっていく。さらに、赤ひげは、その活躍によって貧民を食い物にできなくなった町医者連中がやくざ者を雇って恐喝しようとしたときには、これらのやくざ者を叩きのめす芸当を演じるほどの腕っぷしの強さも持っている。スーパーマン以外の何物でもない。ところが、『赤ひげ』が黒澤明監督、三船敏郎主演で映画化されたとき、周五郎は、赤ひげを「過去に心に深く傷を負った人物として描け」というアドバイスをしたという。たしかに、小説の中ではそのように描かれているのだが。

『寝ぼけ署長』に描かれる警察署長五道三省もスーパーマンだ。いつも居眠りばかりしている署長で、みんなからは「寝ぼけ署長」と綽名されているのだが、ひとたび難事件が発生すると、シャーロックホームズにも負けない明快な推理で犯人を割り出してゆく。そして解決に導くのだ。その解決というのが、決して犯人を断罪するわけではなく、読んでほのぼのと心が温まるような解決なのだ。五道は言う。「不正や悪は、それを為すことがすでにその人間にとって劫罰である。善からざることをしながら法の裁きをまぬかれ、富み栄えているように見える者も、仔細にみていると必ずどこかで罰を受けるものだ・・・」。

考えてみれば、周五郎自身がスーパーマンなのだ。貧窮と闘病の中で修業時代を過ごし、心ならずも売文によって生活の糧を得ながら作家となる夢をあきらめず、遂には、「大衆文学と純文学を止揚」(真鍋元之)といわれるまでにのし上がった。決して常人にはできないことだ。

真実の愛とは？

『柳橋物語』と『むかしも今も』は、二篇とも「一人の女と二人の男」が主人公の下町を舞台にした物語だ。愛するとは？信じるとは？を鋭く問っている。『柳橋物語』では、研物師の孫娘おせんとその幼馴染、大工の庄吉と幸太。何事にも積極的で棟梁に気に入られて若棟梁となる幸太、気の弱い庄吉。「上方に修行に行っても必ず帰ってくるからそれまで待っていてくれ」という庄吉をひたすらに信じて、愛してくれていることが十分すぎるほどわかっている幸太の好意を受け付けず、庄吉を信じて待つおせん。なぜ、これほどまでにおせんを虐めるのかと思われるくらい次々と災難や不幸がおせんを襲う。大火事に見舞われたおせんのところに、来ることさえ拒んでいた幸太が駆けつけ、自分の命と引き換えにおせんを救う。この騒ぎで記憶をなくしたおせんは、誰の子ともわからない赤ん坊を抱いていた。隣近所の住民の好意で、だんだんと記憶を取り戻す。やがて帰ってきた庄吉は幸太との仲を疑い、おせんに信じてほしいなら、「赤ん坊を棄ててこい」と命令する。一度は棄てようとしたおせんだが捨てきれず。庄吉は、それ見たことかと去っていく。「これほど信じて待っていたのに」と自棄になるおせんだが、やがて、私を本当に愛してくれていたのは幸太だ。この子は、幸太との子として育てよう決心する。『むかしも今も』では、指物師の職人直吉と同僚清次、親方の娘おまきが主人公。直吉はのろまで愚鈍、清次はちゃきちゃきしたやり手。やがて清次はおまきと結ばれ、若棟梁となり子供ができる。親方が死ぬ間際に、直吉に向かって「若夫婦の後見人になってくれ」と頼む。自分が愚鈍でのろまなことを知っている直吉は、できないと断るのだが、親方は「おまきのことを本気で大切に思っていてくれるお前ではないと後見人は務まらない」と説き伏せ、直吉も了

解する。やがて清次は博打にのめりこみ、店も傾き、江戸にいられなくなってしまう。おまきと子供、直吉を残して、上方に逃げてゆく清次。直吉は必至で二人を守ろうとする。やがて帰ってきた清次は、相変わらず、博打三昧のまま、直吉の必死の忠言も聞き入れず、おまきを直吉にくれてやると出てゆく。真実の愛とは何かを考えさせる二編だ。

周五郎とキリスト教

周五郎は酔っぱらうと、子供の頃日曜学校で覚えたという讚美歌を十八番にしていたという(木村久邇典)。周五郎にとっては、キリスト教が一番近しい宗教であつたらしい。50歳半ばを過ぎたころから、キリスト教的主題を扱った作品が増えてくる。『ちくしょう谷』では、人は他人の罪をどこまで赦せるのかという主題を直接取り上げている。『五辯の椿』では罪と裁き、名作『サブ』では無償の愛がテーマだ。そして絶筆となった『おごそかな渴き』を書き始めるとき、次のように記している。「欧米の作家についてもっともうらやましいと思うのは、老年になるときまったようにキリスト教に帰ることだ。・・・この小説では、相変わらず貧しい人たちの舞台であるが、その中で宗教と信仰の問題にぶつかってみるつもりである。特に恵まれた人たちは別として、私どもいちばん数の多い人たちは、生活するだけでも常に、困難と拒絶と嫌悪に当面しなければならぬ。けれども私は、その中にこそ人間らしい生活があり、希望や未来性があると信じている。その中で宗教と信仰がどういう位置を占めているかを探求してゆきたいと思う。」「現代の聖書を書く」と言って、はじめられた作品だが、完成しなかったことが残念でならない。

人となりと作品の評価は別物

この全集のどこかで、作家の水上勉が、周五郎のことを「傲慢な人」と書いていた。こんなにやさしい小説を書く人が、なぜ「傲慢な人」なんだろうと思って、いくつかの評伝を読んでみた。周五郎は、親戚筋の人たちからは、「書いていることとやっていることは正反対」、「実父の葬式にも出ないで、香典だけ持ち逃げした」など悪評ふんぷんで、終生絶

縁状態であつたらしい(水谷昭夫、木村久邇典)。作家仲間からは、「山本曲軒」というあだ名をつけられて、へそ曲がりを揶揄されていたらしい(尾崎史郎)。特に晩年は、極端な「人嫌い」と称して、ごく少数の人としか付き合わなかったとのこと。だが、作家同士は競争なのだ。貧窮と闘病の中で、裕福な地主階級出身の文学青年たち(多くは大学出)と競争していた周五郎が、作家仲間によく言われるはずもないのだ。もちろん、周五郎に好意的な評伝もたくさんある。結局我々のような読者は、いくらたくさん評伝を読んだところで、生身の作家自身を100%理解できるはずもないし、そんな必要もないのだろう。作品を読んで受ける印象と、ある一定の人間関係の中で書かれる「人としての評価」は、全く別物の場合があつて当然なのだ。かつて、若い頃に読んだ太宰治の場合にも、同じような印象を持ったことを思い出した。私のような読者は、作品を読んでそれだけの評価の対象にすればいいのだろう。



終わりに

「周五郎の魅力は短編にあり」(宮部みゆき、杉本章子)だそうだが、私は、短編はまだあまり読んでいない。これからは、短編も読んでゆきたい。また、周五郎に限らず、他の作家のものも読んでいきたい。

参考資料

- 山本周五郎長篇小説全集 第1~26巻 新潮社/山本周五郎を読む 『歴史読本』編 (2012.01.27. 新人物往来社) / 山本周五郎を読み直す 多田武志著 (2014.12.20. 論創社) / 山本周五郎で生きる喜びを知る 福田和也著 (2016.03.29. 株式会社PHP研究所/山本周五郎 背筋を伸ばす反骨の文士 文藝別冊 (2018.04.30. 株式会社河出書房新社/山本周五郎の生涯 水谷昭夫著 (1984.06.10. 人文書院)

人生の黄昏をいかに生きるか

『三屋清左衛門残日録』

文学歴史学科2年 田中 祐二



藤沢周平の小説の愛読者です。江戸時代を舞台に、庶民や下級武士の哀歓を描いた時代小説を数多く残した作家です。私が藤沢作品に魅かれるのは、読後感がとても心地よく穏やかな気持ちにさせてくれるからです。日常的な風景や場面が分かり易い言葉遣いで書かれているので“スッと”作品の世界に入り込むことができ、また心の機微を表現するのが本当に巧いので、一度読み始めると時間を忘れてのめり込んでしまいます。

「蟬しぐれ」、「海鳴り」、「用心棒日月抄」など数ある代表作の中で、私の最も大好きな作品は「三屋清左衛門残日録」(1989年)です。用人として支えた先代藩主の死去に伴い隠居生活に入った主人公が、暇になるかと思っただけの間、友人の町奉行の抱える事件などの解決に奔走することになったり、藩のお家騒動に巻き込まれたりする、といった内容ですが、まさに定年退職サラリーマンが第2の人生に向かうに当たってのお勧め本だと思いました。

本来「日記」とすべきところを「残日録」としたところに深いものを感じます。主人公は息子の嫁に対し、「日残りて昏ルルニ今ダ遠シ」(まだまだ人生終わりでない) という意味だと言います。定年後の生活が残日という感覚・・・定年後の心の持ち方を教えられた気がしました。

この作品で私がとても心に沁みた箇所が二つあります。

一つは隠居直後の心境描写です。悠悠自適の暮らしを思い浮かべていたところ、「・・・そういう開放感とはまさに逆の、世間から隔絶されてしまったような自閉的な感情だったのである。・・・世の中から一歩しりぞくだけだと軽く考えていた節がある。ところが・・・暮らしと

習慣をすべて変えることだったのである。・・・

世間と、・・・ややひかえめながらまだまだ対等につき合うつもりでいたのに、世間の方が突然に清左衛門を隔ててしまったようだ。」(文春文庫 P13~14)

これほどリタイアした男の心の揺れを見事に描いた文章は今まで読んだことはありません。

もう一つは、最後の章で清左衛門が死生観を述べるところです。

「衰えて死がおとずれるそのときは、おのれをそれまで生かしたすべてのものに感謝をささげて生を終ればよい。しかしいよいよ死ぬるそのときまでは、人間はあたえられた命をいとおしみ、力を尽くして生き抜かねばならぬ、・・・」

(文春文庫 P436)

病気をした友人が歩行の訓練をしている姿を見た主人公が、この死生観を思いながら家に帰りつくところは、これからの主人公の人生に希望を感じさせる圧巻のラストでした。

淡々とした文体の中に、人間はいかに老いるべきか、という問いを巧みに織り込んだ地味ながら味わい深い作品で、今でも時々読み返しております。

私は昨年末に、リタイアまでの暴飲暴食(特にお酒)の蓄積が原因?で手術・入院を致しました。手術後の痛さのため眠れない夜を過ごした病院のベッドの上で、わが身に迫る老いへの恐れ・過去の自分の行いに対する悔恨に苛まれながら今後の人生についていろいろと思いを馳せました。

さあこれからは本当の第2の人生!

一日一升?を若干改め、一日一生(一笑)(一唱)(一翔)という生き方で頑張っていきたいと思えます。

画像:アマゾン・三屋清左衛門残日録(文春文庫)

写真は生涯の趣味でもあり友でもある

研究生 木村 勲

—コロナ禍でブログの見直しを図る—

大学開講中の時は当たり前のように思っていたことが、当たり前でないことに戸惑っています。

私が所属している、軽音楽同好会の活動が完全休止状態となり、リタイア後にはやってみていた音楽活動や個人的な写真クラブの撮影会も残念ながら止まったままとなっています。

これは、誰もが何らかの負担を強いられていることで、残念であり、仕方のないことでもあります。

今、自分にできることをしてみようと、以前からしていたブログに写真クラブ会員の作品掲載を始めました。

—会員交流の場としてのブログ制作—

今までは、講評会に提出された中から各人の作品を選び、ブログとして発表していました。

現在は、会員から作品を募集し、作品選びから、データ処理などの編集を一貫して行っています。

当初は会員の交流ツールのつもりで制作していたブログが、Facebook と連動したことで閲覧者数も徐々に増えてきています。

ご興味のある方は<photo39-2019>で検索できます。

ブログページの最上部の「記事一覧」や「画像一覧」をクリックすると過去の掲載頁や写真が閲覧できます。

右側写真は、これまで掲載された作品の一部で、花風景、夕景、スナップ、造形、雪景色など他、様々なジャンルに渡っています。

被写体は呼吸こでもあり、発見力を養い、これからも各地を訪ねる撮影旅を続けていくつもりです。



「大阪市立大学附属植物園」



「篠山城跡」



「万博記念公園」



「中之島公園」



丹後半島「伊根の海岸」



琵琶湖「白鬚神社」



但馬「ハチ北高原」



田辺市「天神崎」

群青と緑、そして墨

研究生 井上 聖明



新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言期間中ではありましたが、幸運にも神戸市立博物館で「東山魁夷唐招提寺御影堂大障壁画展」を鑑賞する機会がありました。

皆様方のなかにも足を運ばれた方があるかと思いますが、この障壁画は総延長が80mを超える壮大なもので、初めて目にした私はいきなり最初のところで茫然と佇むほどの迫力でした。



ところが、ゆっくりと説明書を読みながら進むうちに東山魁夷がこの障壁画にかけた年月と執念にも近い想いで描く姿を感じたとき思わず涙ぐんでしまったのです。

そんなことから、貴重な紙面をお借りして、この障壁画に身を囲まれ今も民衆を見守り続けている「鑑真和上」、そしてその恩に報いたいと心血を注いで障壁画を描きあげた「東山魁夷」二人の生き方と障壁画について勝手な解釈を述べさせていただきます。

まず、鑑真和上は、日本の遣唐使から強く渡航と仏教指導の依頼を受けましたが、すでに中国揚州で多くの弟子をもつ高僧であった



為に日本に向かうことを許されませんでした。しかし他に代る人もなく、自身で日本に渡る決意をするのです。

ところが、国を離れることに反対する僧たちの妨害や嵐などで5度の渡航失敗を繰り返し、753年6度目にしてやっと日本にたどり着いたとき、苦勞のあまり失明しての上陸となりました。それほどの逆境にありながら奈良東大寺に居を構え日本仏教の戒律制度を確立して多くの僧を育て、唐招提寺の前身である「唐律招提寺」を創立して、ついに故郷の中国に帰ることなく763年にこの地で人生を終えることとなります。

一方東山魁夷は、青を基調にした彩色画を得意とし、すでに数多くの作品を世に出していた画家ですが、1970年に唐招提寺から御影堂内の鑑真和上坐像を収める「厨子の扉絵」と「五室にわたる大障壁画」の製作を依頼されました。その後7か月ほどの熟慮の末に生涯をかける気持ちでこの仕事を受諾したのです。



その後は、この障壁画以外の仕事をすべて断り、日本全国の海や山をスケッチして歩き、さらに鑑真の故郷である中国各地を訪ねて下絵を描き持ち帰る作業をくり返して構想を練り、足掛け11年間の長い期間を費やして完成させました。

このような緻密な作業を重ねながら日本と中国の二つの風景を調和させて配置した全68面の大作ですが、幾多の困難を乗り越えて来日した鑑真和上の像に風景を捧げることを決意した東山は、5つのテーマで構成される障壁画を二期に分けて製作しました。

第一期は、5度の渡航の失敗で盲目となった和上が実際に目で見ることのなかった日本の風景を題材とし、



雲煙立ち込める山景《山雲》と大きく波の打ち寄せる《濤声》を描き、ともに青を主題とした彩色画で、「青の画家」とも称される東山の清澄な世界観を感じられる空間になっています。

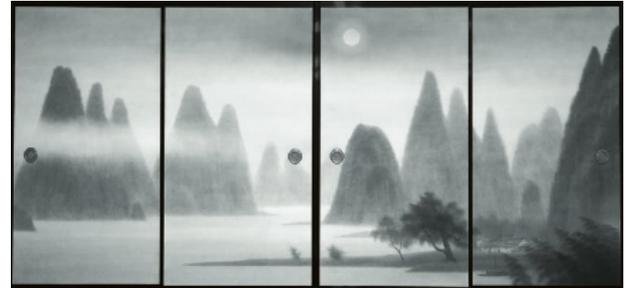
その一部に描かれる岩礁に根を張り生き続ける一本の松は鑑真の姿と重なってみえます。



最終段階に描き上げた鑑真像が座する厨子の扉絵には、和上が辛苦の末にたどり着いた「薩摩半島秋目浦」を大和絵風に描いた《瑞光》を配して安らぎの空間をしつらえてあります。



一方、和上の故国・中国の壮大な風景美を描いた第二期《黄山暁雲》《揚州薫風》《桂林月宵》では、一転してモノクロの世界が広がって、それまで水墨画をほとんど描いたことがなかった東山が、色彩を排した表現に挑んだ静寂の世界が広がっています。



鑑真和上がついに帰ることのなかった故郷中国の風景を東山は得意としない水墨画を学びなおして墨絵で仕上げ、あたかも故郷に居るがごとく眼前の壁に配置することで和上へのいたわりを表し、故郷揚州の柳の葉一枚一枚に風を感じさせる繊細さにも圧倒される空間です。

全体構図の中で、鑑真和上像の身近には日本にたどり着いた安堵の地と故郷の風景を、その外周を先に述べた独特の群青と深い緑で描いた日本の海と山の風景で包み込むように配置したところにこの障壁画の持つ優しさを感じます。



“鑑真和上が命がけで果たされた労に報いたい”と決意し、膨大な年月と労力、集中力を傾けた東山魁夷の執念を述べさせて頂きましたが、もし私が学園で歴史や国際文化を学ぶことなく、結果として鑑真和上への興味も唐招提寺を訪ねることもないままにこの障壁画に接したと考えたとき、画の大きさに驚いたとしても、二人それぞれの想いを妄想し涙するほど感動することはなかったと思います。「学びに感謝」

参考文献・画・写真：2021.4.24－日本経済新聞社発行

「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」より

屋久島へ 行ってきました

文学歴史学科3年 田畑 芳彦

こんな時期ですが、家内共々屋久島に行ってきました。

先の緊急事態宣言明けの後、フト思いついて旅のアレンジをしたのですが、その後またぞろコロナが暴れ出したのでどうしたものかと思案しておりましたが、費用の支払いも済んでいることからエイヤーの気合で行くことにしました。島に着いてからはレンタカーで移動するのでコロナリスクは伊丹―屋久島の機中のみと見極めて、機中では2重マスクを一切外さず飲み物のオフターも断ってと我慢の子でした。

屋久島は御承知のように海中から巨大な円錐が突き出たような島で、その真ん中辺りにある宮之浦岳は九州最高峰となっています。島の殆どが山に覆われており、12,000人の住民は僅かに残された海岸縁にへばりついて生活しています。

島の周りでは常に暖流の黒潮から発生した蒸気が雲を作り、これが山にぶつかることにより日本の平均雨量の5倍もの雨が降ることで有名です。しかし我々が滞在した3日間は毎日快晴で地元の人でも珍しいと言っていました。

屋久島名物と言えば縄文杉で代表される屋久杉です。樹齢1000年以上、幹回りが10メートル以上という巨大な杉が山のあちこちに点在しています。それぞれ名前が付けられており縄文杉、紀元杉、仏陀杉、大王杉などなど。

縄文杉が最古・最大で樹齢3000年～7000年と言われ、周囲が16メートルです。ただ、これは高い位置にあり往復10時間かかるので今回はスキップ。

屋久杉は昔は神が宿る樹として崇められ、切られることもなかったのですが江戸時代に屋久島出身の日蓮宗の僧侶「泊如竹」という人が島民の貧しさを哀れみ、山に2週間籠って神様にお許しを得て伐採を始めたとのことですが、そ

の後、多くが伐採されたために今は止めているようです。

因みに屋久杉というのは屋久島にある杉の総称ではなく樹齢が1000年を越えるものにのみ与えられている名称です。1000年以内のものは小杉と呼ばれているそうです。

隣を歩いている家内にその話をしたら、「それならXXXちゃん(孫の名前)は小杉で我々は普通の屋久杉やね」と。「それならお袋(98歳)は何や?」と小生が訊いたら、暫く考えて「縄文杉か・・・」と。

屋久島は海に囲まれているので当然、魚が豊富です。特にトビウオが名物なようで色々な料理で出てきます。また「クビ折れさば」というのもメニューにあります。サバは鮮度が落ちるので釣り上げると直ぐ首を折って血抜きをすることからそう呼ばれているそうです。トビウオとかクビ折れサバとか関西ではあまり聞きなれない魚なのですが味は結構でした。

島では他にすることがないのでひたすらに自然を求めて動きました。圧倒的な緑の中を膨大な水量で流れ落ちる滝、宮崎駿のイラストに出てきそうなガジュマルの樹などなど。

コロナで抑えつけられた気分が久しぶりに晴れました。



『素晴らしき、白酒!』 Episode-2

—「漢族」の知恵—

国際文化学科3年 木田 信正

はじめに

第二回目電子版「けやき便り」に「素晴らしき、白酒・高麗人参・生ニンニク」-中国少数民族朝鮮族の知恵-を投稿させて頂きました。「大和民族」である私が「朝鮮族」の文化=知恵に助けられたという心温まるエピソードです。

(Episode-1)

皆さんは中国の少数民族の中で今、一番パワーがあるのは、どの少数民族かご存知ですか？松山先生も授業の中でおっしゃっていましたが「朝鮮族」なのです。

「チベット族」・「ウイグル族」・「モンゴル族」・「満族」、そして西南地区の少数民族達は「漢族」からの「ジェノサイド(民族浄化)」に遭い、弾圧されパワーを剥がされてしまいました。ところが「朝鮮族」は違います。朝鮮族自治州には武漢と肩を並べる中国型シリコンバレーもあり、更には多くの「朝鮮族」が海外で活躍しています。「少数民族」が国境を越えることを「共産党」は規制しているなか、「朝鮮族」の華僑、華人が顕著に増えていると言われています。

「漢族」は総じて「朝鮮族」は狡い・信頼できないと言いますが、私にはそう思えません。助けられたので言うのですが、素朴な良いイメージを持っています。すなわち少数民族特有のパワーがあり、身内だけでなく、仲間を助けるという文化にふれたのです。それが少数民族にとっては当たり前のことです。これは「漢族」にはない、すべての少数民族が持つ普遍性でしょう。

また少数民族は団結を強固にしなければ「漢化」されてしまいます。

その「朝鮮族」との心のふれあいを描いたのが『素晴らしき、白酒・高麗人参・生ニンニク』-中国少数民族朝鮮族の知恵-Episode-1』です。それは「線香花火炭」という汚名を着せられた中国からの輸入「黒炭」の品質改善にと、12月に酷寒の吉林省延辺朝鮮族自治州龍井に出かけた私が高熱を出して、ついには倒れてホテルに炭焼き仲間(朝鮮族)に担ぎ込まれ、手荒い洗礼を受けつつ、「朝鮮族」独特の方法で助けられました。最後は中国映画の如く、ハッピーエンドで終わっています。しかし実は続きがあったのです。

私の拙文『素晴らしき、白酒・高麗人参・生ニンニク』-中国少数民族朝鮮族の知恵-』を読んだ、口の悪い親友のT氏曰く、「ところでその後、どうなったんや?」、「あれからな、不思議と風邪ひかんようになったわ、白酒と高麗人参はすごいわ!」と自慢げに言うと、T氏は、「お前の事とちがう、その『線香花火木炭』や!」。癪なので「お前より『朝鮮族』のほうがずっと優しいわ!」とやり返しましたが、何人かに『素



晴らしき、白酒・高麗人参・ニンニク」-中国少数民族朝鮮族の知恵-』を読んでもらい、返ってきた言葉はT氏と同じでした。読まれたほんとの方が「ところで線香花火木炭はどうなったのか？」ということに関心があるのでしょうか。皆さんもそうだと思います、この Episode-2 を「けやき便り」に投稿しました。

水かけて冷やしたやろ！（怒り！）

-木炭製造での禁じ手-



先ず木炭の製造方法についてと、どうして木炭は着火しやすく熱量が多いのかをご説明します。木炭には「白炭」と「黒炭」の二種類があります。「白炭」はウバメガシという比較的硬い木を炭化します。急に熱し、窯出しして灰をかけて急冷します。和歌山の備長炭はこの「白炭」です。それに対して「黒炭」は「ウバメガシ」ほど硬くない「コナラ」の木を使いゆっくり熱くして（炭化）、窯から外へ出してゆっくりと冷却します。

窯は粘土で出来た穴窯です。「白炭」「黒炭」



も蒸し焼きにすると左の写真のように菊の花のように空気の通り道（ポーラス状になる）ができます。因っ

て、着火しやすく、熱量も高いのです。

「線香花火木炭」になるのは、炭化時間が短

くポーラス状の中に水分が残っているからだ。私はふんでいました。ですから炭化温度と炭化時間をコントロールすれば「線香花火木炭」は防げると考えていたのです。

前回、体調も良くなり、管理した木炭をホテルの裏で朝鮮族の炭焼き仲間と一緒に、着火してみると、全く跳ねることがありませんでした。調子に乗った私は、ユーザーに直に連絡して1月末までに生産、梱包、2月下旬大連港出港、3月末ホームセンター納入というスケジュールで1コンテナの受注を入手しました。これでBBQシーズンのゴールデンウィークに間に合う。汚名挽回だと思っていました。

しかし日本に到着した三分の一の「黒炭」に水分が含まれていました。それで中国の輸出窓口会社へ電話をいれ、私が吐いた言葉は、「你们用冷水冷却，对不对？ニーメン ユンロンシュイ ロンチュエ、トイブトイ？」（水かけて冷やしたやろ！）（怒り）でした。急冷却した事は、いつもの「黒炭」よりグレーがかっており明らかです。しかし輸出窓口会社（漢族）は認めません。少数民族に確認しようにも、その当時は少数民族と国際電話で連絡を取ることは困難なので、再度龍井に飛びました。

朝鮮族に直接説明を聞くと、彼らの習慣では元旦～旧正月はお休みなのです（2ヶ月間仕事をしません）。ですから私から注文をもらおうとすぐ窯入れし、元旦から休みたい為に、後から窯出したものを早く箱詰めし、12月中に出荷できるように、水で冷却した。と素直に認めました。やはり黒炭の気孔の中に水分が残ったまま出荷したのです。

漢族の知恵

-漢族の朝鮮族と大和民族に対する ジェノサイド-

この場に及んでも輸出窓口会社は非を認めません。日本側と朝鮮族で解決してくれと逃げさせていただきます。これが漢族と朝鮮族とのメンタリズムの違いでしょう。

そこでユーザーに無理を言って乾燥してもらおうことになりました。同じ温度まで上げれば木炭は着火して灰になります。天日乾燥をしていてはBBQシーズンは終わります。工夫してもらい乾燥窯を用意してもらい処理してもらいました。確か200度位の窯内温度でじっくりと乾燥してもらいました。その費用は約100万円かかったと思います。輸出窓口会社となんとか折半でと交渉に臨みましたが、輸出窓口会社の言い分は中国でやったらその十分の一ですむ。その半分の5万円を負担するの一点張りで平行線です。そして漢族がついに常套手段を提案してきました。「木田先生、我们边商量边喝白酒吧！ムーテンシエンション ウオメンビエンシヤンリアン ビエンフーバイジウバ！」(木田先生、白酒飲みながら相談しましょう！)。

1本2万円の五糧液

これは中国人が高級白酒を飲む口実を作るためと、白酒を飲ませて酔わせてごまかしてしまおうという魂胆です。まんまと術中にはまりました。一(日本人)対七(三漢族、四朝鮮族、漢族の前では朝鮮族も中国人です)です。勝ち目はありません。気がつけば前回と全く同じホテルの同じ部屋でした。結局押し切られて、ユーザーには100万円を60万まで下げてもらい。中国側15万円。日本側45万円の負担となりました。私の完敗です。

これでお解りかりでしょう、漢族と少数民族のメンタリズムの違いや「白酒」の活用方法など全く違います。少数民族と飲むときは安い「白酒」でも楽しく、いざとなれば薬にもなります。中国人と飲むときは、高級な「白酒」が出てきますが、必ず裏があります。注意しなければなりません。



それともう一つ、中国側のペナルティーの15万円ですが、全て「朝鮮族」に負担させているはず。「大和民族」には45万円負担させ、「朝鮮族」には15万円を負担させています。窓口会社の利益は予算通り確保しているはず。「漢族」のこの感覚・知恵は恐るべきものがあります。これはもう立派な「漢族」の「朝鮮族」と「大和民族」に対する「ジェノサイド」以外何物でもありません。

追伸 でも一番大切な事

急に真面目な話になり恐縮ですが、2021年1月10日に山東省金鉞山で爆発事故が起こり22人のうち、11人が救助され、1月25日段階では10名が死亡、1名が行方不明との記事が出ていました。この労働者達は多分少数民族の出稼ぎでしょう。漢民族よりノルマを課され、早く家族の元へ帰りたくやっちはいけない事(地下堀で同時に2層トンネル堀と発破使用)をやってしまった結果の惨事だと思います。早く休みを取りたくて、黒炭を水で冷却したのと同じです。

確かに漢民族の圧力もありますが、漢民族以外の力が知らず知らずのうちにかかった可能性もあります。

我々日本人は日本国内で発生している在日外国人に対する問題と、日本国外で起こっている「多文化非共生問題」にもっと目を向けるべきではないかと思っています。



私のポストコロナ計画

研究生 中村 米三郎

コロナもワクチンの接種等が行われ、ようやく終息の兆しが見えてきたようです。コロナ終息後の計画を考えてみました。

1. 長距離路線バスを使って熊野三山参拝

奈良交通の全長 166.8 km、停留所数は 167、高速道路を使わない路線では、日本一の走行距離を誇る路線バス「八木新宮特急バス」を使っています。

1日目 近鉄大和八木駅スタート

9:15 大和八木駅→10:30 五条バスセンター (トイレ休憩)→12:25 上野地 (トイレ休憩)→13:39 十津川温泉 (トイレ休憩)→14:23 本宮大社前下車→本宮大社参拝→16:58 本宮大社前乗車→18:21 新宮駅着→新宮泊

泊りは新宮市のホテルで、夕食は料理屋です。

2日目 新宮ホテルスタート

9:00 ホテル →速玉大社参拝→ 新宮駅 →串本駅→串本、潮岬観光→ 串本泊

泊りは串本町のホテルで夕食は海鮮料理です。

3日目 串本ホテルスタート

9:00 ホテル → 串本駅 → 紀伊勝浦駅 →那智大社・青岸渡寺参拝→15:21 紀伊勝浦駅 →特急くろしお 30号→19:28 大阪駅



熊野本宮大社



熊野速玉大社



熊野那智大社



那智山青岸渡寺

2. 竹内街道ウォーキング

最古の国道「竹内街道」・世界文化遺産「応神天皇陵」、河内源氏発祥の地、聖徳太子廟・竹内街道歴史資料館を3日かけて歩きます。

1日目 近鉄南大阪線土師ノ里駅スタート

10:00 土師ノ里駅 → 応神天皇陵・誉田八幡宮 → 古市駅→ (昼食) → 日本武尊白鳥陵 → 駒ヶ谷駅 14:30 歩行距離計 6.5Km



応神天皇陵

2日目 近鉄南大阪線駒ヶ谷駅スタート

10:00 駒ヶ谷駅 →上ノ太子駅→河内源氏発祥地「壺井八幡宮」→(昼食)→通法寺・源頼義墓 →上ノ太子駅 14:15 歩行距離計 7.0Km



壺井八幡宮

3日目 近鉄南大阪線上ノ太子駅スタート

10:00 上ノ太子駅→ 聖徳太子廟・叡福寺 → (昼食) → 竹内街道歴史資料館 → 長尾神社 → 磐城駅 16:30 歩行距離計 10.0Km



聖徳太子御廟

「竹内街道ウォーキング」の詳細計画は、5月10日「遊歩クラブブログ」に投稿しています。

3. 青春18切符αバラエティ旅行

毎年青春18切符を使って旅行をしていますが、今年は昨年のも含めて、「青春18切符」、近鉄名古屋行特急「火の鳥」、「深夜高速バス」を使って変化のある旅行を考えました。

1日目

大阪難波 8:00～名古屋線～10:08 近鉄名古屋



観光特急「火の鳥」

J R 名古屋 10:24～中央本線～11:39 中津川

J R 中津川 12:00～中央本線～12:18 南木曾

南木曾～バス～妻籠～妻籠観光



妻籠

泊りは妻籠の旅館です。

2日目

妻籠～バス～南木曾

J R 南木曾 8:12～中央本線～9:42 塩尻

J R 塩尻 9:58～中央本線～11:42 甲府

J R 甲府 11:42～身延線～15:30 富士

J R 富士 15:48～東海道本線～16:08 沼津



身延線の車窓から見る富士山

泊りは沼津市のホテルで、夕食は沼津魚市場食堂です。

3日目

J R 沼津 8:48～御殿場線～10:29 国府津

国府津 10:35～東海道本線～10:41 小田原

小田原～箱根登山鉄道～箱根湯本～箱根観光



箱根大涌谷

箱根湯本～箱根登山鉄道～小田原

J R 小田原 17:09～東海道本線～18:04 横浜



横浜南京街

泊りは横浜市のホテルで、夕食は南京街です。

4日目

J R 横浜 9:10～横須賀線～9:31 北鎌倉

～鎌倉観光



鎌倉報国寺竹の寺

J R 鎌倉 17:00～横須賀線～17:24 横浜

22:50 横浜発高速深夜バス大阪行き



5日目

7:00 大阪梅田着



コロナ禍で つながる・学び合う

「よもやま話の会」報告2

文学歴史学科2年 河田かつのぶ

話をしよう、集まろう

コロナ禍でシニア専修コースが中止になった中、「よもやま話の会」は昨年10月の第1から、コロナ緊急事態宣言での中断を経て、今年4月まで6回開催してきました。

コロナ対策として70人定員の会場に25人までとする、入り口に消毒液を準備するなどして、「話をしよう、集まろう」となったのです。第1回と2回は、『けやき便り』前号に櫻井秀也さんが報告していますので、以下はそれ以降の「よもやま話の会」の報告です。



▲講師のお話の後、参加者から近況報告

第3回は、木田信正さん(国際文化学科3年)から「『これが、ブータンなのだ！ 自分の幸せを探したら、幸せは見つからない』と題した話を聞きました。(2020.11.6)



幻の蝶「ゼビウス」(左写真)を求めて能勢妙見山初谷川沿いを探し回り続けてきた親友が二人もい

た話から始まりました。一人は、幼稚園、小学校、中学時代の親友で、小学校の教員時代に蒜山高原にログハウスを建て、大山・蒜山をフィールドとし、幻の蝶「ゼビウス」を追いかけてい

たそうです。もう一人は、高校時代、朝5時の始発にのり、登校前に能勢の妙見山までのぼって「ゼビウス」を追いかけていたようです。

親友二人との交流と松山先生の「国際観光開発論」の話が結ばれ、自然環境を壊さない、珍しい蝶が多く生殖している「ブータンの話」へと続きました。

ヒマラヤの麓の大自然、珍しい蝶、チベット仏教、伝統文化などブータンの魅力が紹介されました。しかし、ブータンの一番の資源は、家族、友人が幸せであれば、自分も幸せという共同体感と、現世の徳でより良い来世をとという輪廻転生の考えを持ち、「ブータンは幸せ国」と胸を張れるブータンの人々です、と話されました。

その例として、二つに分かれたトロフィーを描く映画、「アザー・ファイナル」を挙げられました。2002年ブータンで行われた、最下位のモントセラトと、その一つ上のブータンの間でのサッカー国際試合で、4対0でブータンが勝利しますが、トロフィーは2つに分割され両チームに分けたというのです。

そうした人々のいる国が、「幸せの国」ブータンなのだということでした。



第4回は、松山利夫先生から『京都五山送り火の話 一なぜ「妙法」・「大」の字と鳥居形なのか』の話がありました。3~4ページに先生の寄稿『京都の五山送り火 -「よもやま話の会」その後-』がありますので参照ください。

(2020.11.18)



第5回は、尼崎市立歴史博物館の室谷公一さんから、『江戸時代の尼崎城』のお話を聞きました。(2021.3.24)



摂州尼崎城図の 슬라이드から、尼崎城は大物川と庄下川が大阪湾に注ぐ砂州を利用

して築かれた城だったと理解できました。また、現在の阪神尼崎駅南側の地図に、本丸や二の丸、侍屋敷や寺町などの図を重ね、当時の城下の町割りの説明がありました。要塞としての城から、政治を行う城へと変貌し、家臣団や商工業者が集住する都市機能の中心となっていたことが示されました。

尼崎藩の支配は、戸田氏(1617年~)、青山氏(1643年~)、松平氏・天領(1751年~)と変わり、城の役割も変遷します。江戸初期の尼崎藩は、大坂の護衛、陸上交通の関所の手配、廻船の吟味、朝鮮通信使の接待など、通常の藩とは異なる西の守りとしての役割を担うためだったのです。藩領には、中国街道と西国街道の分岐点の西宮、人や産物を積送する廻船で賑わう兵庫津があり豊かな藩だった、などの話を聞くこと



ができました。

その後、歴史博物館の展示を見学し、櫻井神社、寺町、尼崎城跡、世界の貯金箱博物館へと足を延ばしました。

第6回は、川村隆志さん(国際文化学科卒業生)からは「ベネズエラ登山」の紹介と「山へ登り続けること」と題したお話がありました。

(2021.4.7)

ベネズエラのテーブルマウンテンへたどり着くまでの行程、大自然の動植物、仲間との登山の様子がスライドで映し出されました。



南米ギアナ高地の壮大なテーブルマウンテンの頂上をめざし、太陽の光を遮るものがない広い原野の道をポーターと共にただ歩く。草木がほとんどない景色の中を歩いて、標高差1000mの絶壁



を登った先にあるのがテーブルマウンテン。そこに広がる別世界には、独自に進化したカエルや固有植物が生育していて、ス

ライドで次々に映し出されました。

山上で1夜をテントで過ごし下山するベネズエラ登山は、5泊のキャンプを含め、1月16日から25日までの10日間の旅でした。



◀会の後、近くの公園での花見(写真左端が川村さん)

第7回「江戸時代の尼崎城 その2」を7月1日に予定しています。参加ご希望方は河田まで連絡をお願いします。(080 9359 7979)

コロナ・自粛・家事・親父

国際文化学科2年 鈴木 好夫

思えば会社勤めのときは、朝7時に出て、夜9時頃に帰るといった日々で、休日は買物などに出かけ、したがって家事などはほとんどすることはありませんでした。この1年、新型コロナの影響で大学に行くこともなく、自粛生活が続き、益々家で過ごす時間が多くなりました。

最初のうちは、「これやってや」と言われ、物干しや部屋掃除を手伝っていましたが、それが次第に常習化し、当たり前になり、今では内容が次々と増えるようになりました。

☆毎朝のゴミ出し☆

昨夜に分別されたゴミ袋を、毎朝外に出しに行きます。以前は孫の幼稚園バスのお迎えの時間でしたが、今はそれもなくなり、私の日課となりました。大阪市のごみ収集車は「小鳥の来る街・島倉千代子」のメロディーで来ますが、うっかりすると間に合わない時があります。



☆掃除機と洗濯機☆

掃除は掃除機が、洗濯は洗濯機がやってくれます。最近の掃除機は手元にモーターがありコードレスでとても軽くて便利なのですが、充電時間が短く急停止して掃除が中途になります。

洗濯は洗濯物の順序や洗剤の加減があるため、設定操作は妻がし、脱水後のベランダでの物干しと、夕方の取込みをやらされています。時々取り込みを忘れて、夜露がついているからと、翌日に再度干すこととなります。



☆炊事と料理☆

昔から食事においてガスコンロで魚を焼いたり、電子レンジで温め物をしたりはしますが、味付けとか煮炊きの必要な料理は全くしたことがありません。ただ、ご飯にはこだわりがあり、お釜ではありませんが炊飯器でおいしく炊いています。因みに、お米は但馬の田舎で「無農薬米(合鴨)」を栽培している昔のスキーの友人から購入しています。残念ながら大病を患い、昨年訃報が来ました。コロナが収まったら墓参りに行こうと思っています。



☆食後の片づけ☆

食後の食器類はしばらく水につけ、軽くすすいでから「食器洗浄機」で処理します。乾燥が終われば食器棚に片付けるだけです。以前は子供達がいて生ごみが多かったので「生ごみ処理機」で処理し、妻がベランダ野菜の肥料にしていたのですが、今は使用頻度が少なくなったので、昨年メルカリで売却してしまいました。



自粛生活で遠出は全くしなくなり、外出は運動と買物だけ、今までしなかった家事も分担するようになりました。このことを、娘夫婦に話すと「今の時代、夫婦で家事を分担するのは当たり前でしょう」と一蹴されました。「コロナ」の影響で「自粛」生活を余儀なくされ「家事」の半分は「親父」の役目となりました。

二人のピアニスト

文学歴史学科3年 櫻井 秀也

今日は小さな記事をきっかけに、二人のピアニストと出会うことができました。

まず「国内最高齢の現役ピアニスト 100歳前に演奏会」というタイトルで、**室井摩耶子さん**を紹介する記事が目に入りました。

99歳の演奏会！そのトークで「いい芸術家であるために何が必要かがわかってきました。人間として自分の中身をもっと深めなくてはいけない。そのときに初めて自分の芸術ができあがると思います」とありました。



彼女は、23歳の時にプロデビューして、ベルリンでの留学やリサイタルなどでヨーロッパで20数年も過ごした後日本に戻ったそうです。

「指が早く動くとかダイナミクスとかじゃなくて、音そのものがものを言っていると感じるようになった」「ああこういうことかと考えていると、また違う美しい深いものが出てくる。新しいものが発見できるのは本当に素晴らしいことだと思います」

すっかり感心していたら、YouTubeで、もうおひとり、すごい人を見つけました。NHK番組「こころの時代」で紹介された「こころの旅路／音霊（おとだま）のひびきに」（2010年）の**遠藤郁子さん**というピアニストです。

番組ではショパンの生誕200年を記念した、彼女の8回連続のショパン演奏会が紹介され、インタビューを通して「遠藤郁子」の生き方を伝えてくれました（収録当時66歳か）。

彼女は、その演奏会を「ショパンの遺言」と名付け、遺言が後世の人の都合が良いように書き換えることが許されないと同じように、ショパンが譜面で表そうとしたことを「遺言」と考え、深く洞察しながら、ショパンの気持ちに近

づこうとしたのです。

彼女は20歳でショパンコンクールに出て、ポーランドとフランスで2人の先生に師事して厳しい指導を受けたそうです。「若い時は指まかせの勝手な解釈で弾いていましたが、その浅さを師から指摘されました。ショパンが生きていた時代を知り、革命や民族の悲劇を背負ったショパンの気持ちを洞察することで解釈は大きく変わり、演奏もまったく違うものとなりました」といいます。



そして遠藤さんは「言霊（ことだま）」という言葉があるように、音楽にも「音霊（おとだま）」があるのではと気づき、それを感じたエピソードを紹介してくれています。

遠藤さんが、北海道の小演奏会で「雨だれ」を弾いたときのこと。直後に、感動した一人の青年が、イエス・キリストを思わせるような、痩せてよれよれのたたずまいで遠藤さんを訪れました。青年はその頃、自分で「死のう」とさまよっていたようですが「雨だれ」を聴いた気持ちをすぐに書（筆）にしたためて遠藤さんに手渡したのです。「ショパンが聞いた雨音があなた（遠藤さん）の弾くピアノで慈雨となり 死を負った旅人（彼自身）は 神（いのち）の慈雨で癒されました……これからまた私の道を歩いてゆけます ありがとう ありがとう」と。

遠藤さんは「いつか指が思うように動かなくなって“れろれろ”の演奏をしても、その音の中に人に伝わる音霊があるのかもしれない、とふと考えることがある」といいます。それこそ年齢を重ねたからこそ伝えることができる偉大な力かもしれません。

日々新たな発見をもとめ、それを得たときの充足を存分に味わいながら、素晴らしい生き方をされている二人の女性と出会うことができました。

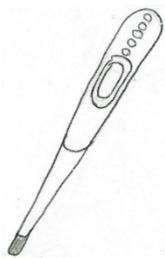
お二人の演奏ですか？YouTubeで見たのですが、音楽に鈍い私にも、「お二人それぞれに、音に気持ちが入っている！」と感じさせてくれるような…気がしました。（5月10日）

お茶になった体温計

研究生 木下 俊造

2021年3月、車の定期点検中の待ち時間、あと数日は自粛休業中のカラオケ店に未練を残しつつ散歩に。十数分後、久しぶりにドラッグストアの店舗へ入り体温計に遭遇。もう一つ欲しかったので購入し、帰宅後体温測定。

思い込み



おかしいな？ なかなかピピピの音が聞こえない。測り方を間違ったのかな？ と思い、説明書を読むと、10分ほどかかるとのこと。確か20秒ぐらいのはずなのに？ と不安に。

無知

そういえば、昔の体温計は10分ぐらいかかったのを思い出し、包装や説明書に実測式と書いてあり、早くピピピと鳴るのは予測式で価格も3倍ほど。

こだわり

せっかくだから買ったので2週間ほど使用してみると、4~5分で測れるようになったが、常に0.6度ほど低く出るので、やはり使い勝手の良い予測式に交換してもらおうと、また同じお店へ。

ごて

残念ながら予測式は在庫切れ。店員さんに理由を話すと、購入後1週間を過ぎているので、メーカーさんへ電話して欲しいとのこと。

二度手間になりそうなので、直接電話してもらおうようお願いしたところ、店長さんが出て来られ、同じような話を繰り返した後、予測式も無いので結局返金に。

反省

しかし返金だけでは申し訳ないと、お茶を十数本購入したものの、たぶん今までも、同様の思い込み、無知、こだわりやごてで、周りの人に多大な迷惑をかけてきたと、大いに反省。



以下は天晴れとソフトなボヤキ



スポーツ

復活も まだ上狙う テルとウラ
支えるは 膝も心も サポーター
アナウンサー 微笑む後は オオタニさん
栄光の グリーンジャケット ヒデキ待つ
十代で 全米制覇 颯爽と

家生活

断捨離で 家すっきりも 腹ポッコリ

健康

かかりつけ やはり見立ては 年相応
通院で 歩数増やすは 本意ならず
CMの あふれるサプリで 満腹に

世間

第5波の 高さ決めるは 先生方
隠れ蓑 もう御免と 専門家
迫り来る 使用期限に 急かされて

五輪

打ち勝った 五輪の証 さて如何に
パブリック ブーイングには ならぬよう

シニア

灯は消さぬ リモート再開 クラブから
待ちかねた 対面再開 正夢か

映画のこと

研究生 高山 純子

映画を見るのが特に好きというわけではないのだが、退職して時間と気持ちの余裕ができたせいか、よく見に行くようになった。

ご存知の方もあろうが、尼崎市には「良い映画を見る会」というのがある。公共の場所で2か月に1回ほど上映され、見に行ったときに住所・氏名を登録しておく次回上映の案内はがきが送られてくる。それを持って行けば入場料が100円程度割引になるというわけである。入場料は、最高でも1000円だ。



第35回 2018年 12月21日(金) 尼崎市

2、3年前までは我が家の近くの会場で開催されていたので毎回のように見に行っていた。上映されるのは1940年～50年代の洋画で、モノクロや不鮮明なカラー作品もあったが、それなりに楽しめた。

「クレオパトラ」・「カルメン」・「若草物語」・「美女ありき」・「市民ケーン」などまさに良い映画ばかりである。一番印象に残っているのは「雨に唄えば」だろう。ダンスのステップが何とも言えないほどすばらしかった。

同様の催しをしているところに西宮市の「フレンテホール」、伊丹市の「ラストホール」、芦屋市の「ルナホール」などがある。特に「フレンテホール」は、ここ数年の作品から選んだ邦画が500円で見られるとあって、いつもシニアで満席である。500円以外に会場までの交通費

も必要なのだが。

しかし、これらの催しもコロナ禍で昨年2月を最後に止まったままになっている。

新作として最近見たのが「いのちの停車場」と「HOKUSAI」である。

「HOKUSAI」は、コロナ禍がなければ昨年公開のはずだったのだ。「いのちの停車場」は終末期医療がテーマで、自分の最後はどのような終わり方にしたいのかということを考えさせられた。

映画を見ている間はその中に入り込んで、別の世界にいるようだ。終わったとたん、現実に戻される。自分のことであれ、現在の社会情勢であれ、逃れることのできない現実である。いやでも生きていかねばならないのだ。

そんなことを考えながら、これからもまた映画は見に行くだろう。



▲塚口サンサン劇場サイトより
『いのちの停車場』



▲映画『北斎』公式サイトより

なんで、どうして

研究生 峠田 桂子

正月9日のこと、郵便を出しての帰り道、自転車を牽いている年配の紳士から尋ねられた。

「中山寺1丁目はどこですか?」「ええ?中山寺、宝塚ですか?ここは神戸線の阪急武庫之荘駅近くですが?」「はあ~大分下ってきましたな」。介護の経験から気が付いた。

自転車を持っておられては、道案内や送ることは出来ない。警察に事情を話すしかない、いつも常駐していない交番に向かう。運よくバイクで登場した警察官に、中に入れてもらい事情を話した。

難聴であることに気が付いたので、事情を聞かれる側で補助をした。服装は上質のコートとマフラーを巻かれていました。お知り合いか、ご親戚を訪問されたのかもと思った。「今日は何時頃お家を出られましたか?」「朝早く、散髪に売布へ行ったんです」~それから自転車で散歩が、南へ下って午後3時か・・・~と。



事情聴取

- *お名前とお年、住所の分かるものを持っていないか尋ねていた。
- *保険証か、運転免許証持ってる?
- *電話番号を教えてください。
- *お家に誰がおられるの?
- *散髪屋の領収書ある?ポケットを探された。「それ見せて?入っていない?」

手掛かりがないかその他も、調べの質問かもしれないが、私は失礼な質問だと思った。

電話番号を聞いたので、何度かかけられたが繋がらない。大半を話したところで、若い警察官3人が来て同じ事を尋ねた。事情聴取の仕方が良くない。困っておられる人だ。私は帰ってよいとのことで室外へ。私だったら、お礼をい

って、お任せくださいぐらいは述べる。「どの様な人か分からないでしょう。質問の仕方に気をつけてくださいね」と告げ、帰宅した。

4時30分頃自宅で、ゴミを出しておこうと立ちあがった時、体に違和感を感じた。腰のあたりが異様に痛い。でもゴミ2袋持って痛みをこらえて必死に運び込んだ。しゃがんでしまった。やっとの思いで部屋に到着、電話で妹に状況を話した。妹、姪、甥が到着、救急病院を探すも、土曜日6時頃でどこも断られた。日曜日、月曜日は祭日と最悪状況である。机に両手を置いて立っているが、痛くて動けない。持って来てくれたベルトも出来ない。待つしかない。診察日まで何と表現してよいか分からない地獄の3日間であった。待合室で不格好に壁を伝って歩いている時、クラスメイトの本田さんに久しぶりに出会った。リハビリにこられていた。

診察の結果「第12胸椎圧迫骨折」と診断された。2ヶ月は妹に診療付添、姪に入浴介助、甥には、力仕事に世話になった。3月頃からは、時間がかかる王様歩きの一人通院が出来た。注射で血管は太くなり、色がついている。

しかし、なぜこのような目に遭うのか?

私は悪いことはしていない!人助けはした!ひどい! **神様は何の試練を私に?** これまで開腹手術、ひったくりに会って肩の一部骨折、今度は背骨骨折、**どうしてこんな目に遭わせるの!もういません!!**

医者は「折れたものは治らない。これ以上折れないようにしてください」誰が望むか!すっかり痩せた。血圧が上がった。今更と思うが、まずいサプリメント3種類、食事に気を付け、日光に当り庭仕事をしている。早く軽やかに歩き、自由に見たり聴いたりしたい。

自分の帰り道が分からなくなったことについての結果は、両者から何の連絡もない。もう忘れよう! さあ、お茶にしよう。そして種々私的理事職引継ぎの片づけを始めよう。

《ぎっきちょうから》

そこつの者



研究生 金森 扶美子

ああ、恥ずかし、恥ずかし！なんでこないな恥ずかしい場面を演じてしまったのだろう。

バスの運転者さんの「大丈夫ですか？大丈夫ですか！」の声に「大丈夫です」と答えながらも、恥ずかしさでいっぱい。追っ立てるように「ちゃんとしっかりつかまっていなくてはいかんじゃないですか!!」といかにも私が悪いように、マイクを通して乗客のみんなに聞こえるように言う。恥ずかしくて周りを見る勇気もない。

友人とお喋りしながら乗ったのがいかなかったか。一番前の通路の所で手すりにつかまっただけで、発進と同時にダダダッと後ろ向きに中央の乗降口のところまでずり落ちて何度か何かに捕まろうとしたが叶わず、最終的にお尻から転んでしまった。その一瞬は何も見えず恥ずかしさだけで一杯だった。

だが不思議なことに身体のいろんな所を打った気がするのだが、どこも痛くはなかった。あんなに大袈裟な転び方をしたのにである。

その2、3日後の雨の日、行き慣れないスーパーに寄った。レジ支払いの後、カゴから詰め替える場所を探し、あ、あそこが空いてると斜めに向きを変えた途端、またスッテーンと転んだのだ。わあ、なに？ 周りの人がみんな心配そうに駆け寄ったり憐みの眼で見てたりしてる。またまた、恥ずかしい！

レジの人が「大丈夫ですか？」そばの人も「大

丈夫？」またまた、「大丈夫です」と言いながら起き上がる。雨のしずくでぬれたビニール袋の上に乗って滑ってしまったらしい。またしても派手に転んだ。にしてはどこも怪我也痛みも痣にもならなかった。

今まであまり派手に転んだ事がなかったのに、この続けざまの事態はどうしたこと？やっばり歳なんだな。気をつけなくては……いやいや、この日はこんな星のもとなのか？

思い起こせば、3年程前長男と孫達とドライブに行き車に乗り込もうとしていた時、急に車がバックした。その時後のタイヤが私の足の指先10センチ位のところを轢いてしまう。わあ、車に轢かれた、痛い痛い!!と大袈裟に叫んでしまう。だって車に轢かれるなんて初めてだ。絶対足の指や甲は骨折かヒビがはいるかの複雑骨折に違いない、病院に行かなくちゃ、と思いベソをかきながら恐る恐る起き上がる。まあ、痛い痛い……そのうち病院にも行かずに治ってしまった。

昨年も長男と車に乗って用事があり私だけが降りて、3段ほどの階段を駆け上った途端、ひっかかってバタ〜と、もの見事に前のめりに転んだ。この時もどこも無傷だった。それから何にかにつけて息子の「歳だから気を付けろ」と姦しい。

私としては歳の割には凄く骨が丈夫なんだということが内心自慢なんだけれど……最近転倒することが多くなってきた。粗忽者は気をつけなくちゃ!!



わたしの作品 水彩画

国際文化学科1年 山根 邦男



長野 安曇野 (2020. 11. 22)



京都 浄瑠璃寺 (2020. 12. 21)



長野 上高地 (2021. 3. 16)



京都 嵯峨鳥居本 (2021. 5. 19)

出会いと別れ

阪本與志さんのこと

研究生 眞鍋 幸裕

昨年(令和2年)12月、友人の阪本與志さん(文学歴史学科2年)が急逝されました。

彼は穏やかで体力抜群、ジョークがうまくいつも皆を楽しませてくれていました。そんな彼が亡くなるとは信じられないことでした。

今頃彼は天国でも友人を沢山作り楽しくやっている事と思います。



遊歩クラブで一乗谷遺跡へ

彼との思い出は尽きませんが、出会いは塚口にあるスポーツジム(ハーティー21)、私が退職後に入

会したとき阪本さんは大先輩(10年選手)で優しく迎えて頂きました。当時彼は機械設計の仕事をしてながらジムに来られており、その後に入会された小笠原さん、月津さんも加わりハーティー4人会を結成。阪本さんは一番年長で、若い時から山登りをされジムで鍛え、体力も一番でした。

4人で山登り、ハイキング、散策、旅行等に出かけた事が昨日のこの様に思い出されます。

当時私は園田女子大学シニア専修コース国際文化学科に在籍しており、大学の楽しさを話し、けやき祭に誘ったところ、3名とも入学を希望され、阪本さん、小笠原さんは文学歴史学科、月津さんは情報学科に入学(令和1年)、授業もクラブも楽しみ、友人も沢山作られ学生生活を謳歌されていました。

4人会で最後に飲んだのは昨年4月の花見

(園田の猪名川堤防)、この時は最初の緊急事態宣言が出る少し前でした。その後彼は足に血栓ができ入院(7月末)されましたが、コロナの影響で電話もお見舞いもできない状況の中、12月奥様から訃報をいただきました。亡くなる5日前に彼から電話があり、最後のジョークは“日帰りで行ってみたいな天国へ”でした。もっともっと人生を楽しみたかった事と思います。



塚口愛蓮にて 4人会

左から月津さん、小笠原さん、阪本さん、眞鍋



文学歴史学科1年時の「日本史学1」で、6世紀のヤマトと

アスカについて学びました。そこで有志で、継体大王の本当の墓といわれる今城塚古墳へ行きました。古代歴史館での真剣な見学の後は、居酒屋での反省会。楽しい話を阪本さんがしてくれました。写真左が阪本さん(上の写真・文:河田)

阪本與志さんのご冥福をお祈りいたします。

クラブ 同好会

状況報告

例会記録のブログ化と

コロナ後の計画立案

けやき遊歩クラブ 中村 米三郎

1. 過去の例会記録のブログ化を行いました

平成26年4月第1回「お花見有馬」～令和元年1月第66回「初詣学園バスで行く淡路島」までの例会の写真・行程・紀行文等の記録は、長い間私のパソコンの中がありました。

この記録を会員の方々に見て頂くことは、まず不可能と考えていました。

しかし、コロナ対応の一環として「生涯学習ユニット」様が実施された「オンライン・キャンパス」の中にシニア専修コース生のコミュニケーションを図るため「ブログ」の環境を作って頂き、しかも、「オンライン・キャンパス」終了後も存続して頂けることになりました。

私は、コロナ休暇を利用して、66回の記録をブログ化しました。その明細は次の通りです。

令和3年1月5日投稿

平成26年 4月～9月 (例会1回～7回)

平成26年 10月～3月 (例会8回～12回)

平成27年 4月～9月 (例会13回～15回)

平成27年 10月～3月 (例会16回～21回)

令和3年1月7日投稿

平成28年 4月～9月 (例会22回～27回)

平成28年 10月～3月 (例会28回～33回)

平成29年 4月～9月 (例会34回～39回)

平成29年 10月～3月 (例会40回～45回)

令和3年1月9日投稿

平成30年 4月～9月 (例会46回～51回)

平成30年 10月～3月 (例会52回～57回)

令和元年 4月～1月 (例会58回～66回)

2. コロナ後の例会の計画を立てました

「ZOOM」を使って、数回オンライン懇談会を行って、コロナが終息すれば近郊を中心に、簡素な例会の行き先の候補地を、10月(3候補地)、11月(2)、1月(2)、2月(3)、3月(2)、4月(2)を選び、メールで会員に連絡をしました。

6月1日に「遊歩クラブ・ブロッグ一覧表」を「ブロッグ」に投稿していますのでご覧下さい。

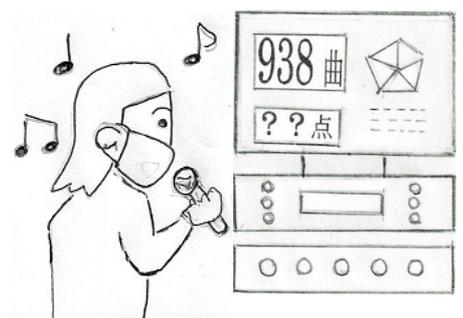
1000曲・選曲・戦局

けやきカラオケクラブ 木下 俊造

昨年2020年11月9日に例会を実施してからは、12月の第2回例会が中止となり、クラブの皆様と会えない日々が続いています。設立以来7年、1,000曲歌唱も近づいていましたが、例会もままならない状況で停滞したままです。

カラオケもこれからは、以前のように大人数で楽しむというより、少人数でじっくりと雰囲気を楽しむ形が増えそうな気がします。

特に最近、情報発信されても返信が減っているのは、なかなかクラブ活動にま



で気が回らなくなったからでしょうか。

シニアでの学びが限定され、この4月からは大学や仲間とコンタクトできる機会も少なくなり、先が見えなくなってしまったようで本当に残念です。



日々の暮らしも大きく様変わりしていますが、高齢者ということで今しばらくは、他の世代より優遇される状況になっています。

これをきっかけに規模を問わず部分的にでも、学園での学びを再開できるよう配慮していただければ、高齢者にとって大きな心の支えと、園田シニア健在の証となるに違いありませんので、ご英断よろしく願いいたします。

教材の作成と

「ZOOM」による勉強会

けやき IT を楽しむ会 中村 米三郎

1. 教材の作成&パワーポイント(P P)へ変換

(1) 令和 2 年 4 月 勉強会で使用していた教材「パソコン概論 1 (ワード)」を大幅に改定して、「自粛生活」の一助になればと思い「IT を楽しむ会」会員に送付しました。

(2) 令和 2 年 6 月から開始したオンライン勉強会の教材のために、「パソコン概論 1 (改訂版)」を P P 教材に変換しました。

(3) 「パソコン概論 1」に掲載していない「便利な、楽しい機能」を P P 教材に順次追加しています。

2. 「ZOOM」によるオンライン勉強会の実施

(1) 令和 2 年 6 月から、知人の協力を得てオンラ

イン会議ソフト「ZOOM」を使い、プライベートなオンライン勉強会を月 2 回行っています。

第 1 回オンライン勉強会の参加者は 8 名でした。

(2) 令和 2 年 11 月から始まった「オンライン・キャンパス」に「ブログ」の環境が提供されたので、P P で作成していた教材を「ブログ」に変換しました。

(3) 「オンライン・キャンパス」開始にともない、プライベートなオンライン勉強会を「IT を楽しむ会オンライン勉強会」に変更しました。

3. 新規会員を募集

令和 3 年 5 月、「IT を楽しむ会」は、コロナによりシニア専修コースは休止中ですが、シニア専修コース生を対象に新規会員を募集しました。なお、詳細は 5 月 18 日に「ブログ」へ投稿していますので参考にしてください。

4. 講座開講後もオンライン勉強会を継続

ポストコロナでシニア専修コースが開講されても、コロナ前の勉強会は 2 号館 205 号教室がホームグラウンドでしたが、教材は「ブログ」を使い、「ZOOM」によるオンライン勉強会を今後とも続けていきたいと思っています。

6 月 1 日に「IT を楽しむ会・ブロッグ一覧表」を「ブログ」に投稿していますのでご覧下さい。

テニスで長生きしよう!

けやきテニス同好会 鈴木 好夫

・自粛中のテニス状況(けやきのわ 11 月 25 日)

昨年、テニス同好会メンバーに自粛期間中の現状アンケートを実施させていただきました。

毎週テニスをされている方が 65%、毎週散歩等をされている方が 82%でした。その他のスポーツも含めて回答をいただいた全員の方が日常生活で、

何らかの運動をして健康と体力維持に努められているとのことで安心しました。

・だからテニス！！（けやきのわ12月4日）

昨年、小池都知事による「3密」が流行語にもなりました。テニスは東京オリンピック競技でメダルが期待できる種目です。（1）テニスは屋外コートや、広い室内コートを使用します。（2）テニスは約11m x 約24mの広いコートを4名でプレーします。（3）テニスはパートナーや相手との距離は2m以上離れています。テニスは3密「密閉、密集、密接」を回避した中でのシニアも楽しめるスポーツです。

・テニスでダイエット（けやきのわ1月4日）

ステイホームが長く続いて運動不足で、お腹の周りが大きくなっていませんか？ 食事から摂取したカロリーは日常生活で消費されますが、消費されない余分なカロリーは体脂肪として蓄積されます。（1kgで約7200kcalに相当）

体重60kgの人が、毎日テニスを1時間、またはウォーキングを1.5時間すると、1カ月で約8000kcalを消費し、体重が約1kg分のダイエット効果があることとなります。



けやきテニス同好会は「テニスで長生きしよう！」をモットーにした「シニア専修コース」受講者の同好会です。受講再開時まで健康と体力維持に留意し元気で過ごしましょう。

有志で活動開始

けやきゴルフ同好会 川田 郁夫

けやきゴルフ同好会は新型コロナが日本に蔓延しそうな昨年の1月に発足いたしました。その後休講となりましたので、正式な活動は未だに開始できておりません。同好会のメンバー全員の集合も実現しておりません。正式な同好会の活動は学校が再開されてからにしています。

そんな中、新型コロナの感染が少し落ち着いた昨年の10月から集まれる有志の皆さんでコンペを開催することにしました。昨年は2回、今年は3月より2回開催いたしました。しかし、第3回目の緊急事態宣言発出で現在中断しております。緊急事態宣言が解除されましたら再開したいと思っております。

今までの4回のコンペ写真を掲載いたします。どの日も快晴で絶好のゴルフ日和でした。

2020年10月13日

レークスワンカントリー倶楽部吉川コース



2020年11月24日

東条の森カントリー倶楽部大蔵コース



2021年3月23日

センチュリー吉川ゴルフ倶楽部



2021年4月20日

小野グラウンドカントリー倶楽部



次回の開催は、緊急事態宣言が解除されていることを見越して、6月25日、サンロイヤルゴルフ倶楽部での開催を予定しております。

ZOOMは愉し!?

けやき朗読倶楽部 北澤 美津子

ZOOM? オンライン? 言葉は知ってはいてもハテ? サテ? 自分でするにはどうするの? レベルの私達高齢者 10 人余りが集まりました。発足して約4年。月2回の活動で時には学園祭出演、時にはミニ発表会でお耳にかかってきたサークルの有志達です。

昨年夏頃から研究生の中村さんのお声掛けで準備し、10月からスタート、失敗や苦労を重ねながら13回目を迎えました。

開始の時間になるとパソコン画面にそわそわ顔でメンバーが集まります。



まずは全員で発声『あめんぼ赤いな…』五十音。ZOOM の中ではなかなか声が揃わないのですがそれもお愛敬。

テキスト題材は当番持ち回りで自分の好きな声に出して読みたい作品を選びます。文学作品芥川龍之介『藪の中』あり、トルストイの『イワンの馬鹿』あり 選ぶ個性が光ります。オーヘンリーの『最後の一枚の葉』では気持ちを込めてセリフ劇もやってみました。

今、挑戦しているのはなんと浪曲『瞼の母』。自分が浪曲するなんて正直思ってなかったのですがこれがなかなか面白いのです。

終わりの30分はお喋りしながらの近況報告。笑い興じている間にそろそろ時間が…。手を振りながら画面からフェイドアウト。

お家での様子を画面からそっと伺ったり、話題の貴重体験もコロナ禍がなかったら出来なかったかも…プラスに考えても良いですね。

電子版「けやき便り」でなんとか?

「けやき便り」編集クラブ 櫻井 秀也

シニア専修コースが昨年4月から中止となり、「けやき便り(電子版)」は今春で3回目となりました。すこし振り返ってみます。

■■ 第22号(2020年春)

「編集会議」も「印刷」もできない状態では…と「けやき便り」の発刊をあきらめかけていましたが、「電子版」としてできないか、と初めて印刷なしでの「けやき便り」に挑戦しました。メールとネット上の共有ファイルを利用した「意見交換」や「編集・校正作業」でしたが、少しずつ慣れて、何とか発刊にこぎつけました。

初めての経験の中で、感じたことや思いを伝えたい、という多くの方々から原稿が届けられました。それらを「いきいきシニア受講生の近況報告」と題して皆さんにお届けすることができました。

■■ 第23号(2020年秋)

第23号でも、読書、論文、エッセイ、散歩撮影、ズーム勉強会など、「ウィズ コロナ」のなかでの皆さまの日常が寄せられました。

目立ったのは「映画」についての原稿が5編と多かったことで、自粛生活にぴったり合ったのかもかもしれません。皆さんそれぞれ前向きに工夫して過ごされている姿に力をいただきました。

■■ 第24号(2021年春)

年度が変わっても授業再開の見通しが得られない中、編集クラブでは2月頃から、次号をどうするかについての議論が持ち上がりました。「原稿が集まらないのでは」「魅力ある誌面とは」など。緊急事態宣言の合間を縫って「塚口南地域学習館」を借りて「編集会議」を開いたり、ズームで話し合ったり…

「受講生へのアンケート」を織り込み、秋の授業再開(!?)を期待しながら、とまかく発行へ向けて進めようということになりました。

引き続きご愛読、ご支援をお願いいたします。

「けやき便り」アンケートの結果報告

「けやき便り」では、受講生の皆さまにアンケートをお願いし、40名の方から回答をいただきました。以下のその結果をご紹介します。

I. アンケートの質問内容

1. ステイホームの中で、励んだことや取り組む時間が増えたことがありましたか(複数回答可)

- 読書
- テレビ視聴
- 映画観賞(録画含む)
- 運動・散歩
- 料理
- 楽器演奏
- 写真撮影、絵、書、短歌、川柳など
- 片付け、家事、雑事
- その他...

上記について具体的に教えてください(良かった番組、映画タイトル、書名などの紹介)

2. ほかに「ステイホーム中の暮らしあれこれ」について自由にご記入ください
(気づき・楽しみ・困りごと・普段の様子や生活の変化など)

3. オンライン・キャンパスには参加されましたか?

- 参加した
- 参加しなかった

「参加」した方は、オンライン・キャンパスの感想を自由にご記入ください
(良かったこと・工夫して欲しかったことなど)

4. 「学校にのぞむこと」について自由にご記入ください(授業・クラブなど)

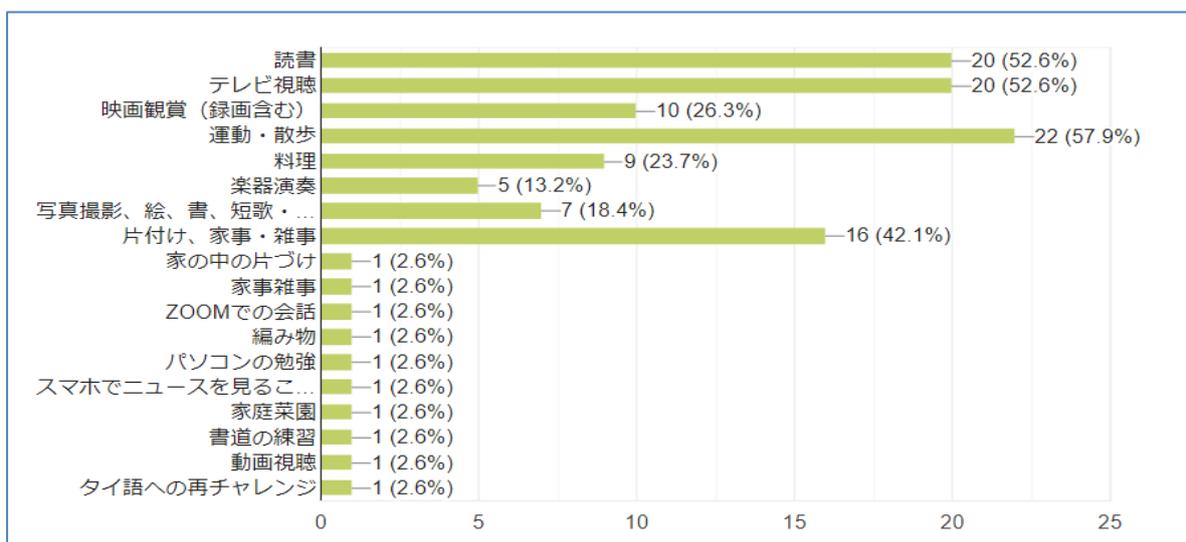
5. 「けやき便り」編集クラブへのご意見・ご要望などありましたら自由にご記入ください

II. アンケートの結果

質問項目のうち3項「オンラインキャンパスに参加されましたか」は生涯学習ユニットのアンケートと重なりましたので、本稿からは割愛しました。以下回答結果のまとめです。

1. 選択項目1の回答結果

ステイホームのなかで、励んだことや取り組む時間が増えたことがありましたか(複数回答可)



2. 記述式2. 4. 5. の回答結果

アンケートの質問内容の表記は以下のように簡略化しています

アンケート質問の内容	質問の表記
ステイホームのなかで、励んだことや取り組む時間が増えたことがありましたか(複数回答可)	取り組み
左記について、具体的にお教えてください(良かった番組、映画タイトル、書名などの紹介)	具体的には
ほかに「ステイホーム中の暮らしあれこれ」について自由にご記入ください(気づき・楽しみ・困りごと・普段の様子や生活の変化など)	暮らし
「学校にのぞむこと」について自由にご記入ください(授業・クラブなど)	学校へ
「けやき便り」編集クラブへのご意見・ご要望などありましたら自由にご記入ください	「けやき便り」へ

アンケートの記述回答内容 (順不同)

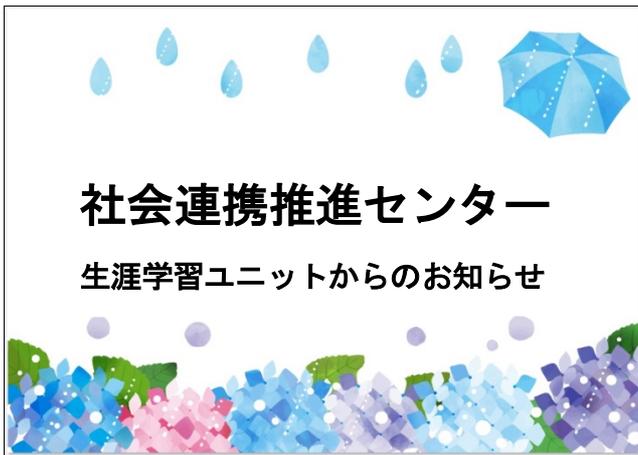
イニシャル ニックネーム	質問	回答内容
Y.H	取り組み	読書、テレビ視聴、運動・散歩
	具体的には	「フランス人は老いを愛する」賀来弓月著、「おしゃれに。女」内館牧子著
	暮らし	コロナ以前は活動的に過ごしていましたが、コロナ禍になって家ばかりの生活で人とのつながりがなく空虚に感じています。以前のように自由に人とおしゃべりが出来、行きたいところに行けるような世の中になることを切に願っています。
	学校へ	なるべく早くシニアの授業とシニアのクラブ活動の再開ができるようにしていただきたいです。
K.K	取り組み	読書、映画観賞(録画含む)、運動・散歩
	具体的には	室内自転車20km/日 ハイキング
	学校へ	せめて図書館の開放を！！
	「けやき便り」へ	皆さん ステイホームだけど、がんばれー
KT	取り組み	テレビ視聴、家の中の片づけ
	具体的には	TV:NHK ニュースを丹念に、歴史探偵、ためしてガッテン、料理番組、運動に関する番組、BSクラシック音楽、バレエ、日本の古典(歌舞伎、日本舞踊等)、 読書:子供用の英文の詩や絵本短い文付。本を処分する前にもう一度全部読みたい。
	暮らし	胸椎圧迫骨折をして現在5ヶ月目、適切なリハビリの場所や、気分転換の外出先が見つからない。片づけをリハビリとしているが、疲れが多くて進まない。毎朝1時間は日光に当たるため(ビタミンD) 植木の手入れをしている。
	学校へ	授業について:コース別の授業として前期、後期と編成して頂く事は出来ませんか? クラブ活動:外出制限があるので、集まりは不可能ですが、Web上で出来る活動は続けたい。
	「けやき便り」へ	授業やクラブ活動は制限されていますが、続けて研究されている課題や、現在どの様に過ごされているか、講師の先生方にもコロナ時期に役立つ様なお話掲載して頂いてもよいのではないかと。
空	取り組み	テレビ視聴、運動・散歩
	具体的には	テレビでは韓国ドラマ、水戸黄門、酒場放浪記、女酒場放浪記、断捨離、カラオケなど。
	暮らし	状況が厳しくなればなるほど、リーダーの先生方が前へ出なくなるのは何故でしょうか。たまに出てきても、質問とは異なる話や前置き枕言葉の羅列で、リーダーシップのかけらも無いのは困ったものです。 人を束ねるには、ビジョンを明らかにして、どこへ導くのか示すべきで、いきあたりぱったりでは、付いていく人がいなくなるでしょう。これこそ、いわゆる総合的俯瞰的判断というのでしょうか。
	学校へ	ワクチン接種の行き渡る8月くらいには、できない理由より、ささやかな再スタートを前提に、下期あるいは次年度の展望を出していただきたいと思います。
	「けやき便り」へ	編集クラブの皆様には、電子版等お世話になっていますが、1年以上大学での学びという実体がないのに当惑しています。
-	暮らし	コロナ禍でよかったこと:学校も習い事もしなかったことで、授業料や交通費がいらなくて、また外出の機会が減って服や化粧品がいらなくて節約できたこと
	「けやき便り」へ	どなたかから提案があったかもしれませんが、各クラブこの1年間の活動について書いてもらってはいかがでしょうか？

イニシャル ニックネーム	質問	回答内容
モーリー	取り組み	読書、テレビ視聴、映画観賞(録画含む)、運動・散歩、家事雑事
	具体的には	書名:直木賞「心淋し川」、芥川賞「推し、燃ゆ」 上野千鶴子「在宅ひとり死のススメ」 武田百合子「富士日記」上、中、下など 映画:ごく最近CATV「三島由紀夫vs東大全共闘 50年目の真実」
	暮らし	・パソコンでのオンライン授業(学校、その他)、読書、TV映画鑑賞など座して眼を使うことばかりで肩こり、眼精疲労、腰痛など体調不良。 ・大学へ通ってたことがどんなに体にとっても精神的にもよかったか思い知らされてます。 ・ウオーキングの習慣が付けられたかな。 ・仲間のみなさんとライブでの交流が絶たれ、一人暮らしには会話が無いのは淋しい。 ・スマホを使えてたことに感謝。かけ放題や、ラインでせめて会話ができてよかった。
	学校へ	2020年度後期はオンライン授業があり、まがりなりにも学校と繋がっていただけ、どうして2021年度前期には何も計画されなかったのか?
H.M	取り組み	読書、テレビ視聴、運動・散歩、料理、写真撮影、絵、書、短歌・俳句・川柳など
	具体的には	これまで何回も途中でやめていた 山崎豊子の未完の遺作「約束の海」を、今回ようやく最後まで読むことができました。 朝の散歩のとき見つけた花の写真を写しています。
	暮らし	早朝、人の少ないときに、近所を歩いています。 駅前の広場で、6:30からラジオ体操があるので、そこに加わって、体を動かしています。
	学校へ	このような時期で、学校へ登校しにくいことはわかりますので、昨年度の経験も生かして、対面以外の方法での授業の実施を試みていただきたいと思います。
HS	取り組み	読書、映画観賞(録画含む)
	具体的には	映画:「ノマドランド」(米)、「存在のない子供達」(レバノン) 「わたしはダニエル・ブレイク」英仏合作 書名:辻信一「ゆっくりでいいんだよ」2006年
	暮らし	毎日のくらし全体が、なんとなく落ち着いた気がする 本当はなくても良かったもの、本当に大事なもの、が見えた気がする。 仲間と話す機会が失われたことがダメージ。
	学校へ	図書館が利用できるように。 仲間と勉強会ができるよう、教室を1室開放して欲しい。
	「けやき便り」へ	先生からのメッセージや学習ユニットからのメッセージがあれば良い
M.S	取り組み	読書、テレビ視聴、運動・散歩
	具体的には	テレビ番組の高校講座日本史、英雄たちの選択、歴史ヒストリア、歴史鑑定など
	暮らし	昆虫の生態や地域の歴史や文化財など、わくわくする世界が身近にあると気づいた
	学校へ	一日も早く授業再開を、せめて図書室の利用を願っています
TK	取り組み	読書、テレビ視聴、映画観賞(録画含む)、料理、片付け、家事・雑事
	具体的には	おすすめ 上橋菜穂子氏の著書『守り人』シリーズ・『獣の奏者』・『鹿の王』再読中 J・P・ホーガンのSF『星を継ぐもの』何度読んでもワクワクする
	暮らし	外に飲みに行けないのが辛い
	学校へ	シニア年代のワクチン接種が完了してからでもよいので開校を望む
	「けやき便り」へ	感謝感謝
NT	取り組み	読書、テレビ視聴、映画観賞(録画含む)、運動・散歩
	具体的には	「推し 燃ゆ」「心寂し川」「伊勢物語」「大河の一滴」…読み直し。 BSプレミアムの映画…「ベンハー」「追憶」「レベッカ」「ドクトルジバコ」など
	暮らし	朝早く目覚めてしまい 6時からFM「古楽の楽しみ」を聴きながら新聞を読み、6時25分になると NHKのテレビ体操をして。すめば外に出て花に水をあげながら外の空気をたくさん吸う。朝日新聞の「ドリトル先生 ガラパコスを救う」を切り抜いて孫にプレゼントしようと… 今34枚目。
	学校へ	クラブも学校もない生活なんて…。
	「けやき便り」へ	内容の素晴らしい原稿がたくさん集まってきていることに期待しています。
BON	取り組み	読書、運動・散歩
	具体的には	毎日一万歩を実行しています。お陰で体重は変わらず。
	暮らし	ホームにいる母との面会時間が15分に制限されていること。あっという間に終わる。
	学校へ	状況は理解しています。早期の開講を望むだけです。
	「けやき便り」へ	いつもご苦労様です。

イニシャル ニックネーム	質問	回答内容
はなこ	取り組み	読書、映画観賞(録画含む)、料理、ZOOMでの会話
	具体的には	日日は好日
	学校へ	近所での楽しみ方を見つけた
	「けやき便り」へ	ワクチン接種が終われば学校を開放して欲しい。クラブに部屋を貸して欲しい。
M.T	取り組み	運動・散歩、料理、片付け、家事・雑事
	具体的には	テレビの料理番組を参考に初めてのレシピに挑戦しました。頑張っただけですが、見た目に変化なくて少し残念です。
	暮らし	初めての事を経験として捉えることで、動ける範囲で楽しんでいます。
	学校へ	密にならないクラブはさせて欲しい。
「けやき便り」へ	いろいろ活動してくださり有難うございます。	
YN	取り組み	運動・散歩、パソコンの勉強
	具体的には	日頃できなかったテーマの勉強がゆっくり時間をかけてできた。
	暮らし	ウォーキングで合計して(旧東海道江戸日本橋～京三条大橋495km)歩きました
	学校へ	今後とも「ブログ」をシニア専修コース生のコミュニケーションの中心に位置づけて欲しい
「けやき便り」へ	電子版22号、23号、24号の計画は素晴らしいです。有難うございます	
Y.S	取り組み	運動・散歩、片付け、家事・雑事
	具体的には	週2、3回のテニスと4、5回の散歩
	暮らし	以前に比べて、自粛生活に慣れてしまった
	学校へ	延期変更があってもいいので、先々の方針や計画を示してほしい
「けやき便り」へ	いつも、ご苦労様です	
—	暮らし	週に一、二回ママチャリで夫婦ツーリングを往復20キロ以上 西へ東へ走りました。海辺や川原や辺鄙な公園などいろいろなところに行きました。コロナ前はほとんど人影がなかったところでもコロナ禍の時は街中よりも人が多くてびっくりしました。やはりみんな考えることが同じなのだなあと思いました。少し油断すると筋肉が減って弱ってきます。これからは気をつけていきたいと思います。
	学校へ	オンラインも続けてほしいと思います。
	「けやき便り」へ	いつもお世話になっております。ありがとうございます。
O.K	取り組み	運動・散歩
	具体的には	できる限り散歩などで外に出るようにしました。近辺だけでなく、自宅から東西南北方向をその都度決めて、町の様子を観察しながら歩きました。
	暮らし	園田のほか、オンラインの各種公開講座に参加しました。探してみると大抵の大学が同様な講座を開設しています。なかでも佛教大学の講座は多数(48講座)でバラエティに富み、すべて無料でした。
	学校へ	授業を早く再開してほしいとの一語に尽きます。漠然と秋以降としか示されず、カリキュラムなどが判然としない中途半端な状態がいつまで続くのでしょうか。
「けやき便り」へ	編集の皆様のご努力に感謝します。	
H.F	取り組み	読書、テレビ視聴、運動・散歩、楽器演奏、片付け、家事・雑事
	具体的には	関口宏のもう一度！近現代史 BS-TBS土曜日午後零時から1時間番組
	暮らし	ゴルフ練習場に毎日通っています。おかげで少し上達しました。
	学校へ	オンライン授業は映像があればいいなと思いました。
「けやき便り」へ	いろいろやったださっていますので感謝しています。	
AO	取り組み	運動・散歩、楽器演奏
	具体的には	市のジムが暫く閉館になり、健康維持のため近所の公園をよく散歩するようになりました。市の施設を借りてるギターグループ練習も閉鎖となり、自主練習が増えました。
	暮らし	外出自粛で会えない中、グループラインやメールで、時々、園田シニア大学の方々や学生時代の仲間とやり取りできることが有難いです。
学校へ	予約制、人数制限ありでもいいですので、図書館を開いていただけたら有難いです。	
H.A	取り組み	運動・散歩
	具体的には	ソフトテニス(週3回)
	暮らし	普通の生活ができる事と、スポーツで動けることの幸せ
「けやき便り」へ	いつも素晴らしい活動に、敬服です！	

イニシャル ニックネーム	質問	回答内容
KS	取り組み	テレビ視聴、料理、片付け、家事・雑事
	具体的には	家の中を片づけ、大型ごみを出し、昨年の11月に水回り(トイレ・洗面・風呂・キッチン・給湯器)のリフォームを行った。
	暮らし	<ul style="list-style-type: none"> • 気づき→普段忙しくしていたので、このステイホーム中は、家の片づけや今後の生活設計の見直しを考えることができた。 • 楽しみ→遠くの友人とメールでのやり取りが増えた。 • 困りごと→外出する機会が減り、人との会話も少なくなり、顔を見てキャッチボールのように話せなくなると発散できない部分が出てきた。 • 変化→これからの生活様式の変化に対応できるように気持ちを切り替えようと思う。
	学校へ	<ul style="list-style-type: none"> • 安全・安心な状態で学校の再開を望む。 • 通学ができない時はオンライン・キャンパスを続けてほしい。 • 引き続き「交流ルーム」を開いて、クラブに入っていない人も話せる場所を作ってほしい。
	「けやき便り」へ	発行するのは大変な作業だと思うが、皆さんの様子や考え方が分かり楽しみにしている。参考になることが多くこちらが元気を貰える。
—	取り組み	テレビ視聴、運動・散歩
Y.M	取り組み	読書、テレビ視聴、映画観賞(録画含む)、運動・散歩
	具体的には	NHK BSプレミアムの映画番組
	暮らし	ステイホームが長すぎボケが入ってきたか、自分が何年生か分からなくなってきました。これ以上長引くと認知症になりそうです。
	学校へ	7月末には65歳以上の人のワクチンが終了、9月からの学校の再開をお願い致します。この1年間の休みで、学校の有難さ、大切さがよく分かりました。
	「けやき便り」へ	いつもけやき便りありがとうございます。楽しみにしています。
—	取り組み	写真撮影、絵、書、短歌・俳句・川柳など
	具体的には	個人での撮影機会が増えました。車で移動しての一人撮影に行っています。
	暮らし	家内と一緒に居ることが増えたことや、結婚以来、初めて台所に立つようになりました。殆ど何も変わることはありませんが、自分のスタイルで生活しています。ただ変化したのは団体で行うことが無くなったことで、ブログ配信数が増えたことでしょうか。学校については、コロナ禍では致し方ないですね。
	学校へ	これだけ長い期間休みむと、学校へ通っていたのが遠い昔のように思い、希薄になっています。
	「けやき便り」へ	いつも頑張っておられることに敬服します。
—	具体的には	有料ケーブルテレビを契約しているので、番組数が多く、好みの番組が楽しめました。
	暮らし	この冬は自宅待機の時間が増えたため基本的な体力が落ちた。この3月からは運動・散歩を心掛けています。
	学校へ	先生でもオンラインに慣れておられる方とそうでない方がおられるので、大学でも積極的にサポートしてあげてほしいです。
	「けやき便り」へ	いつも有難うございます。「けやき便り」でまだ大学に所属していると思いがあります。早く皆様と対面でお会いしたいです。
J.T	取り組み	楽器演奏、片付け、家事・雑事、スマホでニュースを見ること。
	暮らし	出かけられなくなって1年以上になり、今の生活が日常だと感じるようになってきた。何だかもうこのままでもいいような気がしている。シニアコースが再開されないのなら民間のカルチャーセンターで好みの講座を探して受けるのも有りかなと思う。家にいると、することはいっぱいあるし。
	学校へ	できればシニアコースを再開してほしい。受講人数を分散して週1回とか2回とかの授業でもいいから。オンライン授業は、インターネット環境が整っていなければ受けられない人もあると思う。
	「けやき便り」へ	電子版でもいいから毎回発行することに意義がある？

イニシャル ニックネーム	質 問	回 答 内 容
NK	取り組み	テレビ視聴、家庭菜園
	具体的には	剣客商売/テレビ ラグビー観戦/Jスポーツ ソラマメが豊作
	暮らし	友人達と 歴史ハイキング 飲み会 美術館 一泊旅行等 三密を避けて それなりに楽しめました
	学校へ 「けやき便り」へ	出来ないこと ではなく 出来ること を考える 悪環境のなか 努力されていること 感謝します
—	取り組み	読書、テレビ視聴、運動・散歩、料理、楽器演奏、写真撮影、絵、書、短歌・俳句・川柳など、片付け、家事・雑事、書道の練習
	具体的には	私にとっては、若い時から筆を持つことが好きです。なんか？心が落ち着きます。
	暮らし	ステイホームも2年目にまり、園田学園シニア専修コースで皆さんと一緒に学校で出来ていた事が出来なくなり寂しく思っています。お骨折りをして頂いている中村さんをはじめ皆さんに感謝申し上げます。
	学校へ 「けやき便り」へ	園田学園に希望する事は、コロナ禍が終息したら少しでも早くシニア専修コースを早く対面講座を再開されることを希望します。 いろいろと、考えてお骨折り頂き有難うございました。
モクレン	具体的には	本:内館牧子著 すぐ死ぬんだから、今度生まれたら 映画:チャールズ プランソン主演 ウェスタン サウンドトラックミュージックが素晴らしい
	暮らし	ほとんどステイホームでこのままだとフレイルになるかもと少し不安ですね。人と会わないのもストレスがなく心地よいところも 仲間内でzoomでおしゃべりしたり、学習したり、コロナ禍ならではの過ごし方を送っています。
—	取り組み	読書、テレビ視聴、運動・散歩、片付け、家事・雑事
	具体的には	君が異端だった頃 春は馬車に乗って
H.F	取り組み	運動・散歩、写真撮影、絵、書、短歌・俳句・川柳など、片付け、家事・雑事
	暮らし	コロナばけになりました。
—	取り組み	読書、運動・散歩、楽器演奏、写真撮影、絵、書、短歌・俳句・川柳など、片付け、家事・雑事
—	取り組み	読書、片付け、家事・雑事、動画視聴
	具体的には	宮本輝「田園発港行き自転車」 大学入試世界史、日本史動画
	「けやき便り」へ	毎回の「けやき便り」を楽しみにしております。有難うございます。
—	取り組み	読書、映画観賞(録画含む)
	具体的には	シネマ歌舞伎「研辰の討たれ」 やはり勘三郎はすごい！
	暮らし	シニアコースに通うことが、生活の良いサイクルをつくってくれたり、読書の動機付けになっていることに改めて気づきました。
TM	学校へ	定期的な情報発信をお願いします。
	取り組み	映画観賞(録画含む)、運動・散歩、片付け、家事・雑事、タイ語への再チャレンジ
	具体的には	海外TVドラマ —— Bull, NCIS
—	学校へ	1クラスの人数を限定し密を回避すれば対面授業の再会は可能と思います。
	取り組み	読書、テレビ視聴、映画観賞(録画含む)、料理、写真撮影、絵、書、短歌・俳句・川柳など、片付け、家事・雑事
—	具体的には	PCでユーネクストを申込み 洋画 or 邦画 等々堪能しています。198本見ました、戦争映画の残酷さ！特に人種差別にはこみ上げる涙は隠しえません。シニアのラブストーリー青春のラブストーリー大いに楽しい時間を過ごしました。コロナ禍の中何らかの工夫をしています。ぼやいても笑っても時間は過ぎ行く、勿体ない、もったいない精神で何とか切り抜けて笑顔でお会いできるのを楽しみにしております。 ワクチンや繋ぐ命の衣更え。::妖精と戯れている三尺寝。::梅雨じめり愚痴はいらねえ取っときな。おあとよろしゅうよおに。佳寿子



社会連携推進センター

生涯学習ユニットからのお知らせ

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

COVID-19の猛威は依然衰えることなく、学外者の入構制限がかけられて以来、早2年目に突入しました。

原稿依頼を5月中旬頃に頂きながら、確定した良い情報を掲載できないかと悩み、待ち続け、発行予定6月下旬直前の提出になりました。編集部の皆様にご迷惑をおかけし心よりお詫び申し上げます。

「確定したお知らせ」をご紹介できない代わりに、現在、大学では各部署の「COVID-19感染拡大に対する対応」記録をまとめる作業を行っており、以下、生涯学習ユニットが提出した「シニア専修コース」に関わる部分を抜粋し、ご紹介します。

■COVID-19感染拡大に対する対応■記録（抜粋）

COVID-19の対応・対策のため、2020年2月27日の危機管理委員会の決定（2/27～3/12の学内イベント開催の中止・延期）から始まり、全ての生涯学習事業（公開講座・シニア専修コース）他、2020年度学内開催（対面式）中止が決定した。

開学より地域に開かれた大学づくりを推進してきた本学であるが、この決定に従い、それまで年間1400人を超える地域住民（受講生）（以下、地域住民）を受け入れ生涯学習の場を提供、地域貢献を行っていたことから一転し、学外者、いわゆる地域住民の入構不可、大学の門が閉じられることになった。

この未曾有の事態に誰もが翻弄される中、我々は、ただひたすらにキャンパス開放の再開を一番の目標設定としながら、COVID-19の状況下における大学の「社会連携・社会貢献」を検討。まずは地域住民との繋がりが途絶えることのないよう情報発信を行うこと、また、地域住民からの声（意見）に大学が寄り添うこと、そして、その声を学内関係者等との共有に努めた。

情報発信の内容については、自粛要請で外出も制限されている地域住民に向け、大学情報に限定せず、コロナ禍「役に立つ情報」を発信するなどの工夫も行った。

シニア専修コース

2020年4月に地域に貢献できる人材育成を目的に開設された「シニア専修コース」（3年制、文学歴史・国際文化・情報の3学科、研究生）は、新入生を含めた374名の登録手続きを終え、2020年度開講を準備、予定していたが、COVID-19の感染拡大の影響を受け、以下のような対応を行った。

○対応の流れ

2月 26日	2019年度卒業式の対応変更
3月9日	〃 中止、証書・記念品送付
3月 25日	2020年度入学式（4/9）中止、授業開始（4/13）延期
4月3日	2020年度前期中止 （41科目・講師30名） 入学金・授業料返金→ 新入生 登録料返金→ 研究生
7月 29日	2020年度後期特別プログラム案にて 企画、開講検討 感染症危機管理対策本部会議案件提出
8月7日	2020年度後期中止
9月 17日	2020年度生涯学習事業計画（オンライン キャンパス他 案）審議・決定 （第2回社会連携推進センター委員会）
11月～ 2021年 3月	オンラインキャンパス開設

12月16日	2021年度生涯学習実施計画について 第41回感染症危機管理対策本部会議 案件提出
12月28日	2021年度生涯学習事業検討 (2021年度生涯学習再開についての ガイドライン案)
1月7日	2021年度生涯学習事業について 感染症危機管理対策本部会議 案件提出、 情報公開内容確認(1/15)
3月16日	2021年度生涯学習事業について (情報公開) (2021年度新規募集なし、引き続き感染 拡大防止対策が重要であると考え対面式 授業に一部オンラインによる授業で補うこと も検討。開始時期(9月以降)、開講科 目数、年間の開講回数、科目履修の定員 制等について、変更、見直しを行う)

○受講生への対応

「私流ステイホーム アンケート」

シニア専修コースの4月開始が延期、続いて前期中止が決定となり、例年6月に実施していた「授業に関するアンケート調査」を、「私流ステイホーム」と題し、内容を変更した。中止決定通知とお詫び文に添え、回答協力依頼を行った。アンケートには、「シニア受講生仲間に何かメッセージ等ありましたらご記入ください」という欄を設け、その内容をホームページで公開し共有することで、互いに会えない仲間の様子を知り、励まし合う機会になればと考えた。また、QRコードを読み取るWeb形式と、用紙を記入して郵送かFAXで送る形式のどちらかを選択できるようにする他、アンケート項目については、事前に受講生の代表の方々からの意見を取り入れ、よりシニア受講生からの共感、協力が得られるよう準備を進めた。結果、対象70%の方から回答があり、そのうち60%はWebからの回答であった。この調査取組が、次の後期オンラインキャンパス企画への大きな足掛かりとなった。

「クラブ・同好会活動への支援」

再開を待つまでの休止期間中、受講生・仲間同士のつながり、交流の機会を支援することを目的に、1.「けやき便り編集部」の情報誌「けやき便

り」の春号及び秋号の電子版を発行した。(生涯学習ユニットのホームページで公開)また、2. オンラインキャンパス上に交流活動場として、「けやきのわ ~シニア受講生のための交流ブログ」の開設、シニア専修コースをPRするYOUTUBE動画配信を進めた。

以上、2020年度の一年は、COVID-19により、対面式再開には至らなかったが、大学の「社会連携・社会貢献の方針」をあらためて見直し、様々な新しい企画に取り組んだ。「オンラインキャンパス」については、終了後、参加者からのアンケート結果のまとめ、学内外に報告、公開を行った。寄せられた意見を基に、生涯学習ユニットホームページ上に、シニア専修コース「受講生のページ」を設置し、2021年度以降も、ブログの運用の継続、遠隔授業にも今後対応できるようにしている。

今後の生涯学習は？

シニア専修コースは！

以上、あらためて、今年度の最大の目標は、昨年度と変わることなく、キャンパスにおける生涯学習再開であるということ、さらに、皆さんと共に「シニア専修コース20周年記念」を企画し、盛大にお祝いすることであると、確信しています。

まだ、もうしばらくお待ちいただく状況になりますが、

再開の日まで、皆さま、お元気で！♪♪
社会連携推進センター 生涯学習ユニット



(2021/6/28 Nさん撮影)

編集後記

「新しい生活様式」という言葉がこのコロナ禍でよく使われるようになりました。編集クラブも ZOOM を使って会議をし、電子版けやき便りの発刊をすることができました。しかし私としては、これまで通り対面でワイワイ言いながらの編集会議で、相手が何を言い出すのか、表情や語気で感じる緊張感が懐かしいです。コロナ禍での「新しい」は進歩的でなくて、「我慢の産物」だとつくづく感じます。一日も早く普通の生活を取り戻したい。

研究生 酒井 恵理子

今回も多くの皆様から原稿が寄せられて「けやき便り」第24号が発刊出来ますことを感謝申し上げます。

コロナ禍においても皆さんそれぞれの分野で研究し、活動され、新しい生活スタイルを見つけられたりと、コロナに負けないシニアの力強さを感じました。

私もコロナ禍の生活で図書館に足しげく行くようになり、色々な知識を得たり、感動して涙を流したりと、あらためて本の素晴らしさを知りました。また近くの公園の薔薇や、紫陽花の写真を撮りながら青い空、爽やかな風を感じて撮影を楽しんでいます。

以前のような普通の生活に戻り、一日も早く皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

研究生 平田 好子

長引くコロナの影響で、授業でも学食でもお会いできない日が続いています。感染の不安と、いろいろと制約の多い暮らしですが、この「けやき便り」の中では、お元気な日常をお過ごしの皆様にお会いすることができ、とっても元気をいただいています。この時期に「けやき便り」を発行できることは、とてもうれしいことです。記事やアンケートを、多数お寄せいただき、本

当にありがとうございました。今回は、各学科の先生方からもお話をいただきました。心よりお礼申しあげます。たくさんの皆様の思いが集まった電子版24号が、また前へ1歩踏み出す力になればと願っています。

研究生 宮本 裕江

自粛期間中も体力維持に歩くことは欠かさず、自宅近くを歩いています。歌劇場の前の「花のみち」を歩くことが多く、すみれはもちろん四季折々の小さな花が目を楽しませてくれます。特に桜の頃は圧巻。小さな桜のトンネルと桜吹雪。そして中央の歌劇場の入り口に八重の山桜が咲いてフィナーレ。真紅のベルサイユのバラも咲いていました。今は紫陽花の花が顔をくっつけて咲き誇っています。コロナと関係なく生き活きとしている自然界に力をもらっています。

しかしそれにも勝る元気なパワーが集結した皆様の原稿！目から鱗です。周五郎も周平も蘇ってきました。自粛という井の中の蛙がぴよんと飛び出した気分です。ワクチンの力で元の生活に戻れる日も近いことと思います。その日まであと少しです。皆様とお目にかかれる日を楽しみにしています。たくさんの原稿に励まされました。ありがとうございました。

「若い日の私が匂う青もみじ」

「心配のし過ぎは無用風を待つ」

「空っぽのはずのポケットからホタル」

研究生 西島 登志子

コロナ自粛の中で皆さん、それぞれの趣味や研究を益々研鑽されていて、羨ましく思いました。気をつけながら外出し、散歩されているご様子は、シニアだからこそ知恵と経験で行動出来る技でしょう。迷いなく毎日の過程を楽しく編み続けられますよう。

次回も「けやき便り」への投稿をお待ちしております。編集部員としてシニアコースの皆様にお読み頂くことを幸いに思っております。

研究生 峠田 桂子

懐かしい守衛室の向こうは、けやきロードだったが、今はどうなっているんだろう。左の写真



撮ったのは丁度2年前だった。

現在、守衛室前の門は閉じられてはいないが、入構する学生や職員を確かめ、ガードするために門扉はかなり閉じられている。

これも安心と安全のためであることは

わかるが、シニア専修コースの受講生や地域の方々が入構できるのはいつになるのだろうと思う。そして、このロード沿いにある元学長の歌碑をすっかり我が目で確かめてみたいとも思うんだ。

それぞれの方の希望や願いのこもった文章が、いくつも寄せられたことに感謝！！



文歴2年 河田 かつのぶ

コロナは私たちに何を残すのでしょうか。コロナで極端に外出の機会が減り、私たちの日々の暮らし方も変わりました。早く元の生活が戻ってきて欲しいっ！

だけど・・・家に籠るなかで、どこか「外」や「人」を気にせずに、落ち着いた気持ちになれたところもあったのではないかな。いまの梅雨どきの気分みたいな？

本当に大切なものと、当たり前と思っていたけど大して重要でなかったな、と思えることが少し見えた気がします。コロナ禍で感じた、自分にとっての価値ある過ごし方を考え続けること、それも大切なことではないか、と思ったりしています。

今号では皆さまにアンケートをお願いし、40名の方々から回答をいただきました。ご協力に

感謝いたします。

皆さまから、それぞれの「ステイホーム中の暮らしあれこれ」が、伝わってくるようで、興味深く拝見させていただきました。ぜひ目をお通しください。 文歴3年 櫻井 秀也

『けやき便り』に投稿を

「けやき便り」では、皆さんからの自由投稿をお待ちしています。

コロナによる自粛生活の中で、私たちの毎日も様変わりしました。

何気ない毎日の中での気持ちの変化や気づき、新たに取り組まれたこと、テレビや新聞、ネットのつき合い方などなど、こんなことと思わずに、エッセイ風にお寄せいただければと思います。もちろん、皆さまのご趣味（読書、映画、絵画、俳句・川柳など）の紹介や個人研究なども、ぜひお寄せください。

原稿についてお願い

- 原稿の長さは自由ですが、目安として、0.5～2ページ、1ページあたりは写真・イラストを含めて本文1400字～1600字程度です。手書きや印刷物で頂いても、パソコンのデータでも結構です。
- 『けやき便り』はウェブ上にも掲載され、カラーで見ることができます。写真付きで投稿される方は、肖像権などの問題が生じないように事前に撮られる方の了解を得ていただくようお願いいたします。
- 投稿される方はお名前を書いておりますようお願いいたします。無記名・匿名・ペンネーム等のご遠慮ください。
- 編集クラブ員または下記アドレス宛に原稿をお送りください。

hideyasakurai94@gmail.com 櫻井 秀也